

集計結果について

制度参加年度別

再入院に係る調査

- 平成 23 年度調査対象医療機関数及び分析データ数年次推移
- 年度別・再入院率
- 前回入院と今回入院の病名同異別・退院症例に対する再入院事由比率
- 前回入院と今回入院の病名同異別・再入院事由割合
- 計画的再入院における理由の内訳（退院症例に対する再入院症例数比率）
- 予期された再入院における理由の内訳（退院症例に対する再入院症例数比率）
- 予期せぬ再入院における理由の内訳（退院症例に対する再入院症例数比率）
- 計画的再入院における理由のうち「計画的な化学療法のため」「計画的な放射線療法のため」に該当した症例の MDC 別・退院症例に対する再入院比率
- 計画的再入院における理由のうち「計画的な化学療法のため」「計画的な放射線療法のため」に該当した症例の MDC 別・再入院割合
- 計画的再入院における理由のうち「計画的な化学療法のため」「計画的な放射線療法のため」に該当した疾患名別（上位 15 疾患）・退院症例に対する再入院比率
- 計画的再入院における理由のうち「計画的な化学療法のため」「計画的な放射線療法のため」に該当した疾患名別（上位 15 疾患）・再入院割合
- 計画的再入院における理由のうち「計画的な化学療法のため」「計画的な放射線療法のため」を除いた前回入院と今回入院の病名同異別・退院症例に対する再入院事由比率
- 予期せぬ再入院における理由のうち「新たな他疾患発症のため」に該当した症例の MDC 別・退院症例に対する再入院比率
- 予期せぬ再入院における理由のうち「新たな他疾患発症のため」に該当した症例の MDC 別・再入院割合
- 予期せぬ再入院における理由のうち「新たな他疾患発症のため」に該当した疾患名別（上位 15 疾患）・退院症例に対する再入院比率
- 予期せぬ再入院における理由のうち「新たな他疾患発症のため」に該当した疾患名別（上位 15 疾患）・再入院割合
- 前回再入院からの期間別・退院症例に対する再入院比率
- 前回再入院からの期間別・再入院割合
- 計画的再入院における理由のうち「計画的な化学療法のため」「計画的な放射線療法のため」の期間別・退院症例に対する再入院比率
- 計画的再入院における理由のうち「計画的な化学療法のため」「計画的な放射線療法のため」の期間別・再入院割合
- 計画的再入院における理由のうち「前回入院で術前検査等を行い、今回入院で手術を行うため」と「前回入院以前に手術を行い、今回入院で計画的に術後の手術・処置・検査を行うため」の期間別・退院症例に対する再入院比率

- 計画的再入院における理由のうち「前回入院で術前検査等を行い、今回入院で手術を行うため」と「前回入院以前に手術を行い、今回入院で計画的に術後の手術・処置・検査を行うため」の期間別・再入院割合
- 計画的再入院における理由のうち「前回入院で術前検査等を行い、今回入院で手術を行うため」と「前回入院以前に手術を行い、今回入院で計画的に術後の手術・処置・検査を行うため」に該当した症例の MDC 別・退院症例に対する再入院比率
- 計画的再入院における理由のうち「前回入院で術前検査等を行い、今回入院で手術を行うため」と「前回入院以前に手術を行い、今回入院で計画的に術後の手術・処置・検査を行うため」に該当した症例の MDC 別・再入院割合
- 計画的再入院における理由のうち「前回入院で術前検査等を行い、今回入院で手術を行うため」と「前回入院以前に手術を行い、今回入院で計画的に術後の手術・処置・検査を行うため」に該当した疾患名別（上位 15 疾患）・退院症例に対する再入院比率
- 計画的再入院における理由のうち「前回入院で術前検査等を行い、今回入院で手術を行うため」と「前回入院以前に手術を行い、今回入院で計画的に術後の手術・処置・検査を行うため」に該当した疾患名別（上位 15 疾患）・再入院割合
- 同一病名で「計画的な化学療法のため」「計画的な放射線療法のため」の再入院回数別在院日数
- 1 患者あたりの再入院回数（退院症例数／実患者数）
- 今回入院直前の患者の居所

再転棟に係る調査

- 平成 23 年度調査対象医療機関数及び分析データ数
- 年度別・再転棟率
- 前回一般病棟と今回一般病棟の病名同異別・退院症例に対する再転棟事由比率
- 前回一般病棟と今回一般病棟の病名同異別・再転棟事由割合
- 計画的再転棟における理由の内訳（退院症例に対する再転棟数比率）
- 予期された再転棟における理由の内訳（退院症例に対する再転棟数比率）
- 予期せぬ再転棟における理由の内訳（退院症例に対する再転棟数比率）
- MDC 別・退院症例に対する再転棟比率
- MDC 別・再転棟割合
- 前回一般病棟から今回一般病棟への転棟期間別・退院症例に対する再転棟比率

図表1 平成23年度調査対象医療機関数及び分析データ数年次推移

再入院に係る調査
...平成23年度調査データ

1.調査対象施設数と回答施設数

施設類型	再入院調査対象施設数(A)		再入院調査回答施設数(B)		再入院調査回答率(B/A)	
	平成21年度	平成22年度	平成21年度	平成22年度	平成21年度	平成22年度
平成15年度DPC参加病院	82	82	82	82	100.0%	100.0%
平成16年度DPC参加病院	62	62	62	62	100.0%	100.0%
平成18年度DPC参加病院	215	215	215	215	100.0%	100.0%
平成20年度DPC参加病院	354	354	354	354	100.0%	100.0%
平成21年度DPC参加病院	565	565	565	565	100.0%	100.0%
平成22年度DPC参加病院	110	110	110	110	100.0%	100.0%
平成23年度DPC参加病院	59	59	59	59	100.0%	100.0%
平成18,19年度新規DPC準備病院	68	68	68	68	100.0%	100.0%
平成20年度新規DPC準備病院	37	37	37	37	100.0%	100.0%
平成21年度新規DPC準備病院	24	24	24	24	100.0%	100.0%
平成22年度新規DPC準備病院	58	58	58	58	100.0%	100.0%
総計	1,634	1,634	1,576	1,634	100.0%	100.0%

2.症例数と回答症例数

施設類型	退院症例数(C)		再入院症例数(D) ^{※1}		回答症例数(E)		回答症例率(E/D)	
	平成21年度	平成22年度	平成21年度	平成22年度	平成21年度	平成22年度	平成21年度	平成22年度
平成15年度DPC参加病院	390,658	404,829	48,502	51,290	48,496	51,275	99.99%	99.97%
平成16年度DPC参加病院	151,040	153,779	17,377	17,324	17,376	17,323	99.99%	99.99%
平成18年度DPC参加病院	595,186	608,500	66,931	67,358	66,918	67,347	99.98%	99.99%
平成20年度DPC参加病院	709,144	727,320	80,181	80,443	80,164	80,432	99.98%	99.99%
平成21年度DPC参加病院	881,494	904,457	99,734	102,639	99,716	102,632	99.98%	99.99%
平成22年度DPC参加病院	142,768	148,239	16,724	17,529	16,724	17,529	100.00%	100.00%
平成23年度DPC参加病院	79,131	82,246	8,939	9,487	8,939	9,487	100.00%	100.00%
平成18,19年度新規DPC準備病院	47,585	49,381	4,669	5,301	4,669	5,300	100.00%	100.00%
平成20年度新規DPC準備病院	22,156	22,522	2,297	2,530	2,297	2,530	100.00%	100.00%
平成21年度新規DPC準備病院	16,282	16,406	1,421	1,412	1,421	1,412	100.00%	100.00%
平成22年度新規DPC準備病院	60,068	60,614	6,625	6,625	6,625	6,625	100.00%	100.00%
総計	3,035,444	3,177,747	346,775	361,938	346,720	361,892	99.98%	99.99%

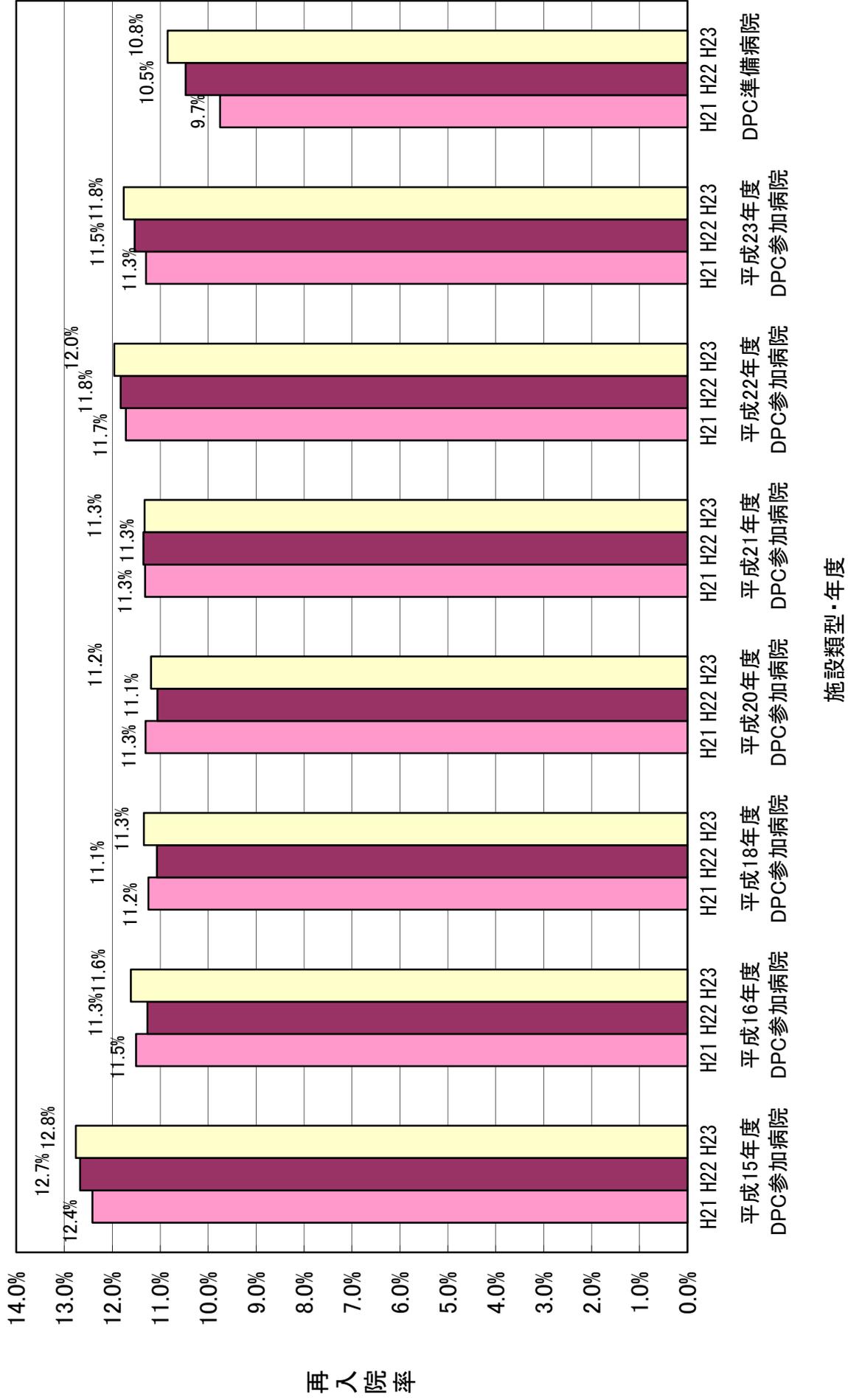
3.施設類型別 再入院率

施設類型	再入院率(D/C)	
	平成21年度	平成22年度
平成15年度DPC参加病院	12.4%	12.7%
平成16年度DPC参加病院	11.5%	11.3%
平成18年度DPC参加病院	11.2%	11.1%
平成20年度DPC参加病院	11.3%	11.1%
平成21年度DPC参加病院	11.3%	11.3%
平成22年度DPC参加病院	11.7%	11.8%
平成23年度DPC参加病院	11.3%	11.5%
DPC準備病院 ^{※2}	9.7%	10.5%
総計	11.4%	11.4%

※1再入院症例数は12月末時点で医療機関から提出された7月～10月データにクリニニング処理を施した後、一般病棟入院有の患者を集計対象とした症例数である

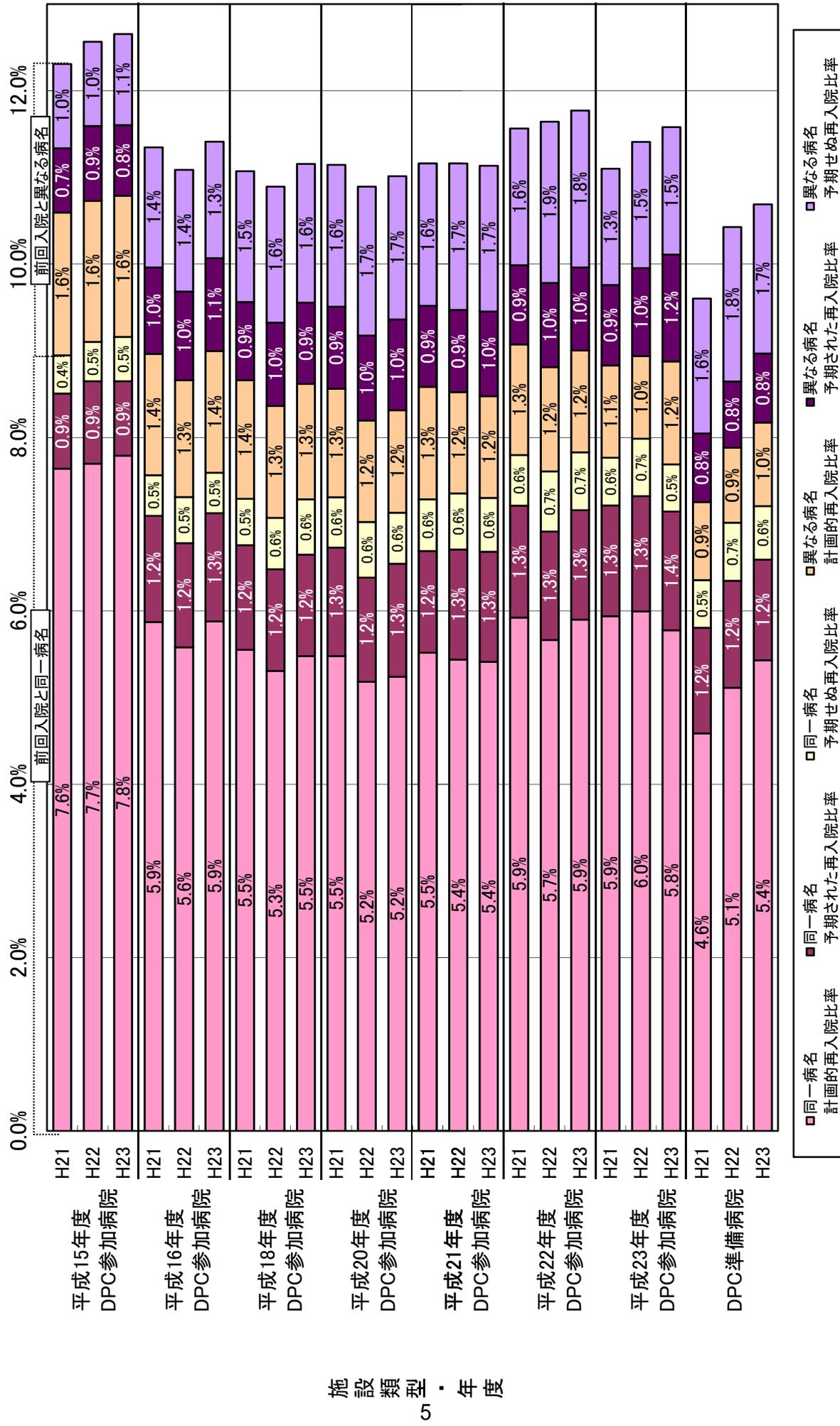
※2DPC準備病院は3年度分のデータが全て揃っている医療機関を対象とする

図表2-① 年度別・再入院率



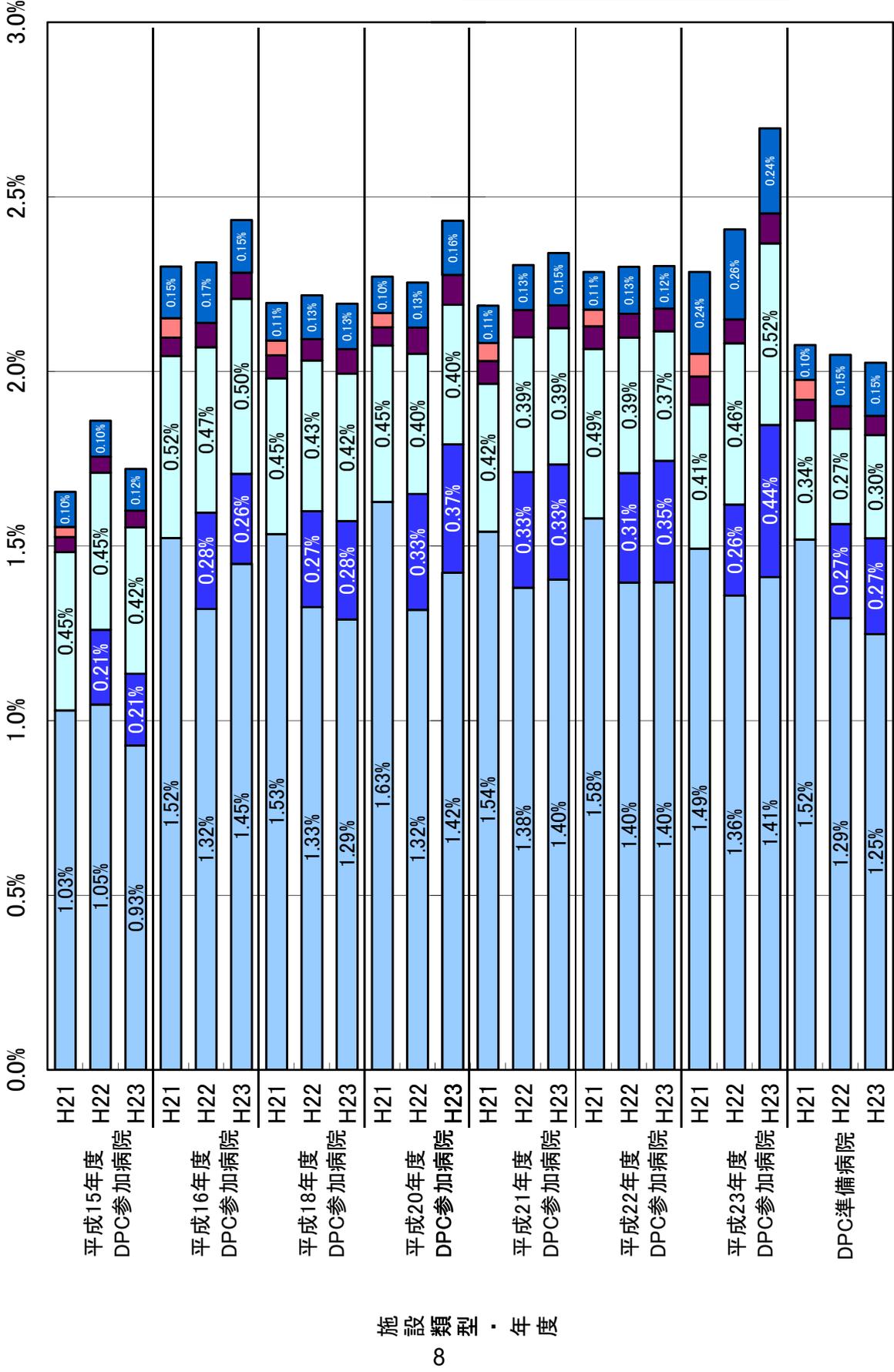
再入院率

図表2-②-1 前回入院と今回入院の病名同異別・退院症例に対する再入院事由比率



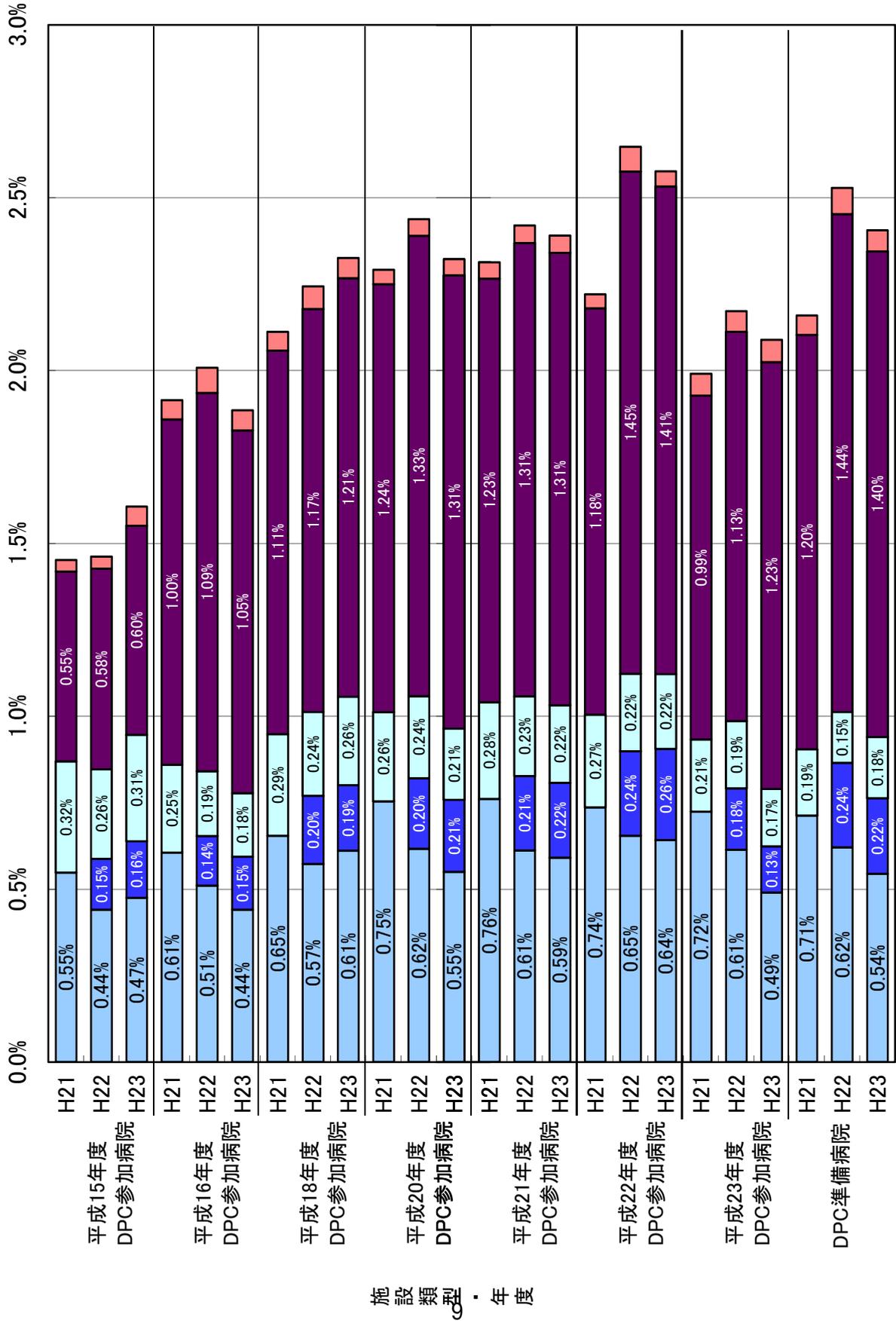
※病名の同異は前回入院の「医療資源を最も投入した傷病名」と今回入院の「入院の契機となった傷病名」から決定される診断群分類の上6桁の同異にて判別した

図表2-④ 予期された再入院における理由の内訳(退院症例に対する再入院症例数比率)



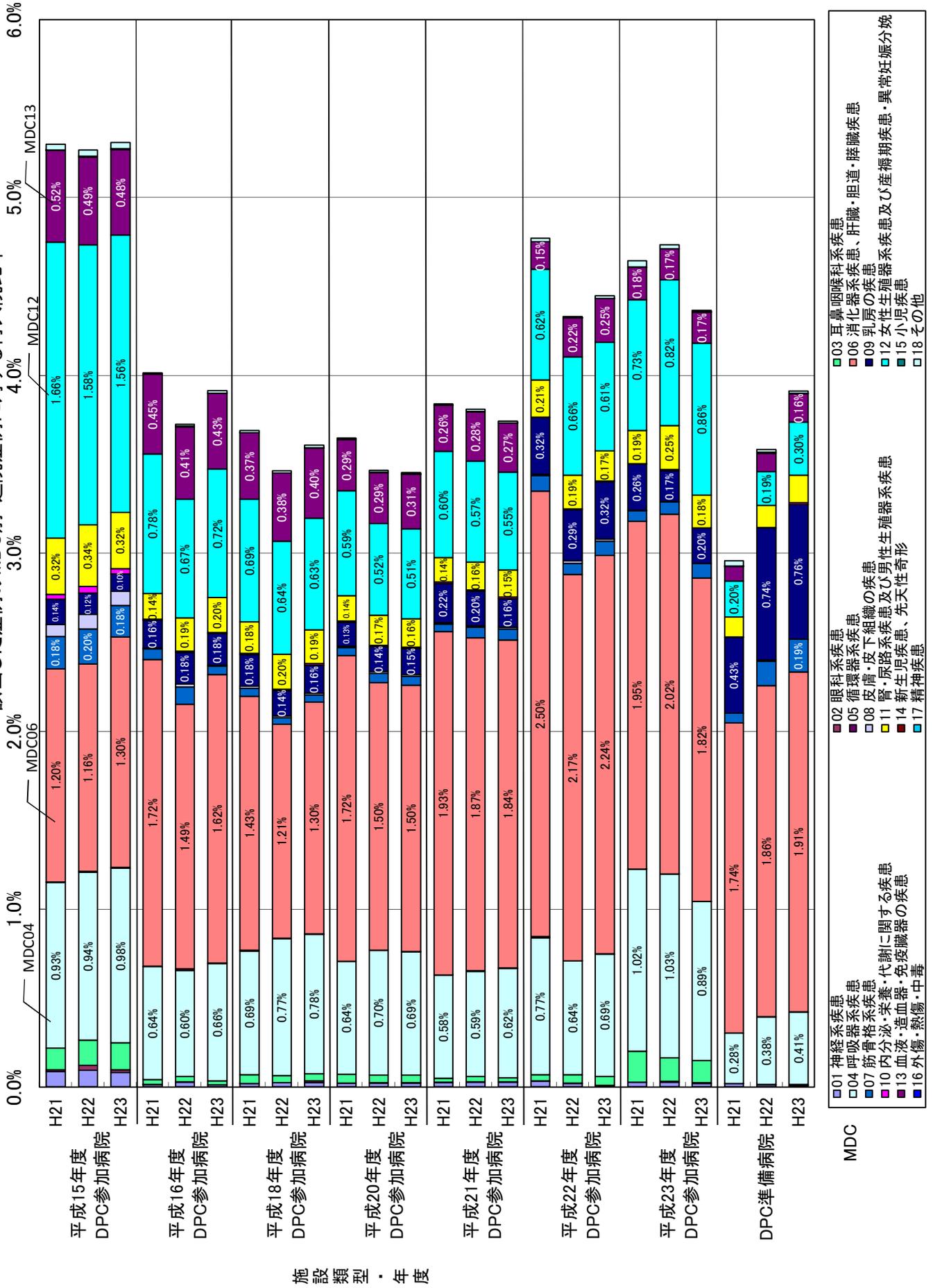
施設類型・年度

図表2-⑤ 予期せぬ再入院における理由の内訳(退院症例に対する再入院症例数比率)



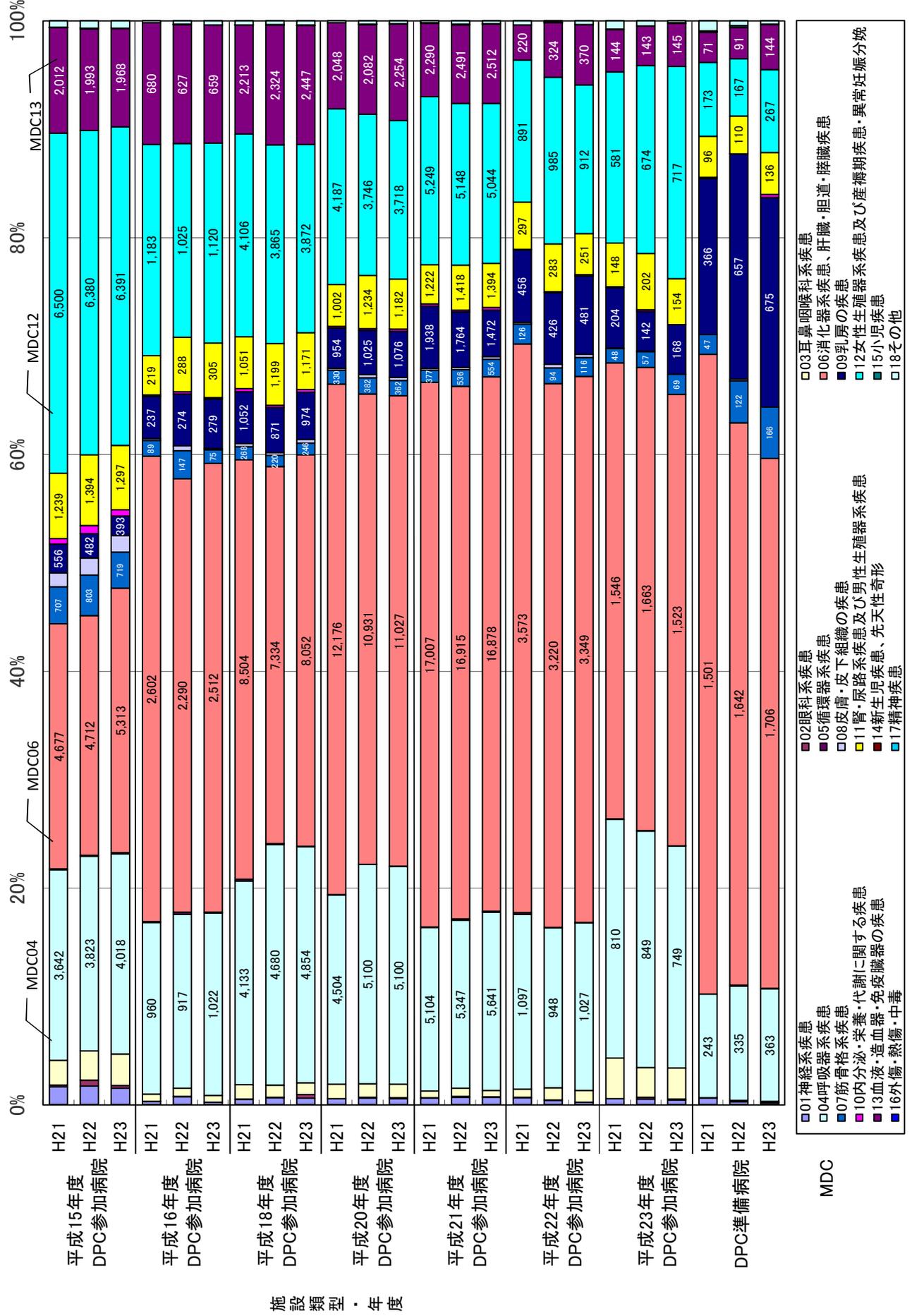
施設類型・年度

図表2-⑥-1 計画的再入院における理由のうち「計画的な化学療法のため」「計画的な放射線療法のため」に該当した症例のMDC別・退院症例に対する再入院比率



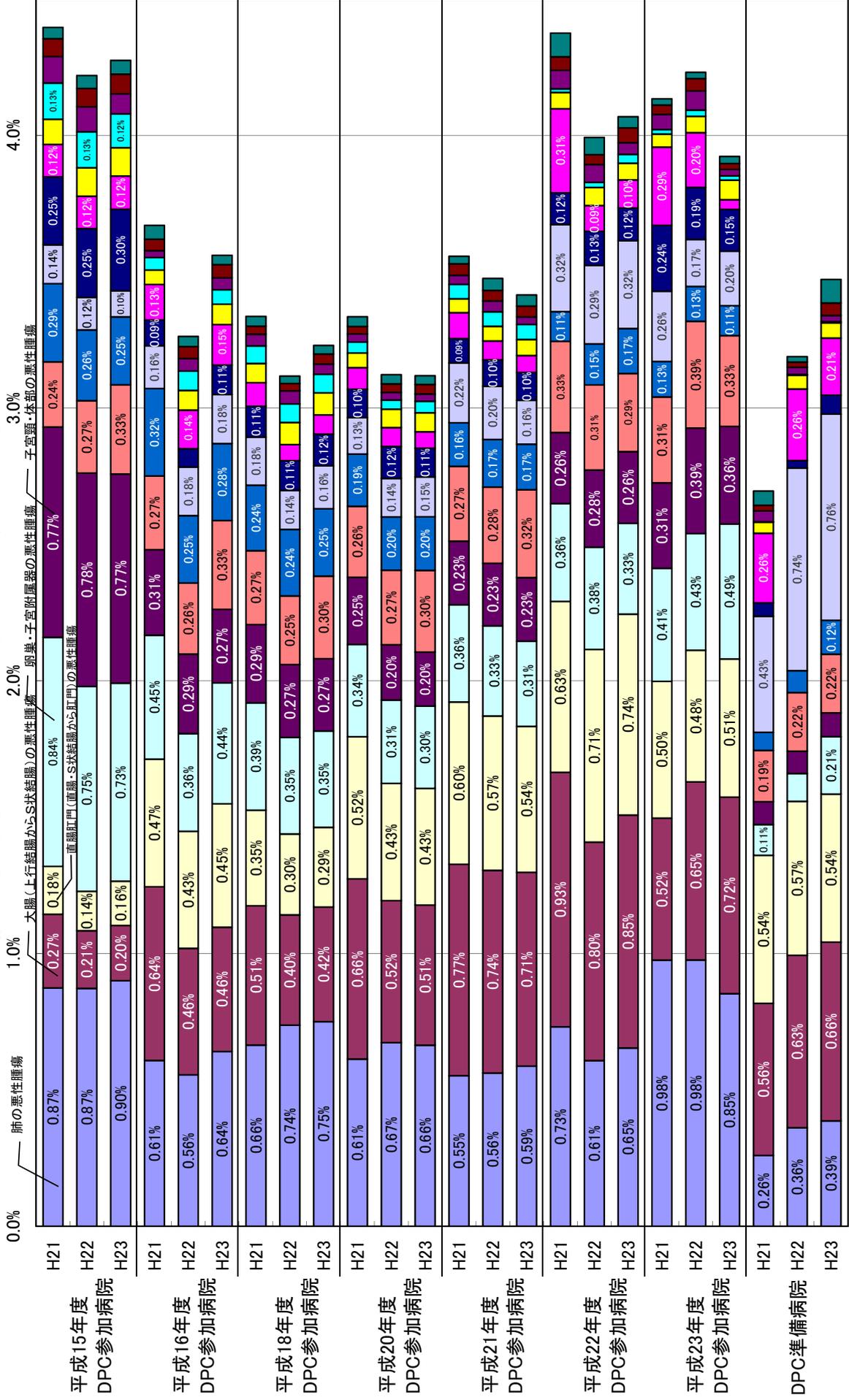
- MDC
- 01 神経系疾患
 - 02 眼科系疾患
 - 03 耳鼻咽喉科系疾患
 - 04 呼吸器系疾患
 - 05 循環器系疾患
 - 06 消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患
 - 07 筋骨格系疾患
 - 08 皮膚・皮下組織の疾患
 - 09 乳房の疾患
 - 10 内分泌・栄養・代謝に関する疾患
 - 11 腎・尿路系疾患及び男性生殖系疾患
 - 12 女性生殖系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩
 - 13 血液・造血器・免疫臓器の疾患
 - 14 新生児疾患、先天性奇形
 - 15 小児疾患
 - 16 外傷・熱傷・中毒
 - 17 精神疾患
 - 18 その他

図表2-⑥-2 計画的再入院における理由のうち「計画的な化学療法のため」「計画的な放射線療法のため」に該当した症例のMDC別・再入院割合



- MDC
- 01神経系疾患
 - 04呼吸器系疾患
 - 07筋骨格系疾患
 - 10内分泌・栄養・代謝に関する疾患
 - 13血液・造血器・免疫臓器の疾患
 - 16外傷・熱傷・中毒
 - 02眼科系疾患
 - 05循環器系疾患
 - 08皮膚・皮下組織の疾患
 - 11腎・尿路系疾患及び男性生殖系疾患
 - 14新生児疾患、先天性奇形
 - 17精神疾患
 - 03耳鼻咽喉科系疾患
 - 06消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患
 - 09乳房の疾患
 - 12女性生殖系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩
 - 15小児疾患
 - 18その他

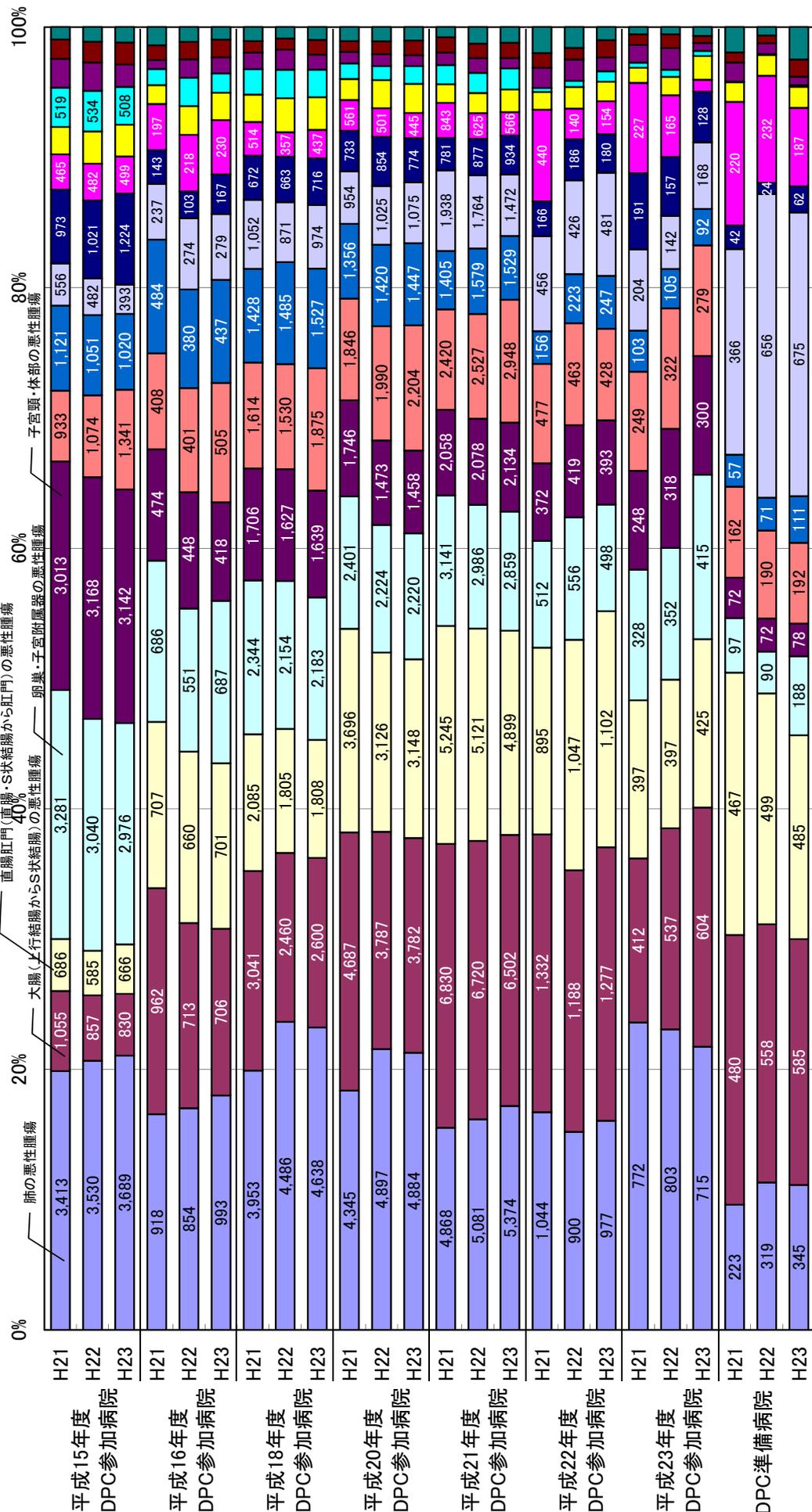
図表2-7-1 計画的再入院における理由のうち「計画的な化学療法のため」「計画的な放射線療法のため」に該当した疾患名別(上位15疾患)・退院症例に対する再入院比率



疾患名

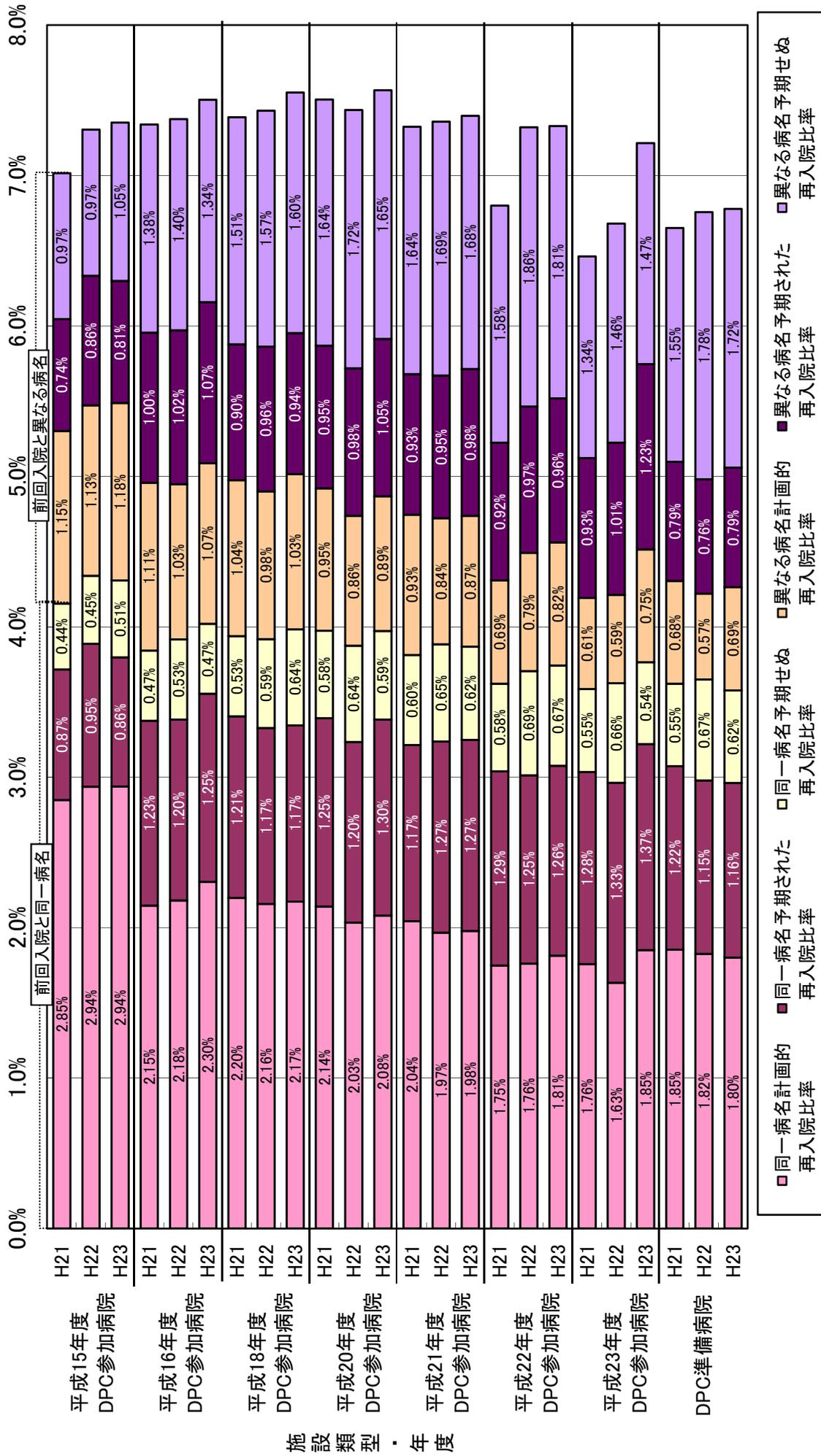
- 肺の悪性腫瘍
- 子宮頸・体部の悪性腫瘍
- 食道の悪性腫瘍(頸部を含む。)
- 前立腺の悪性腫瘍
- 大腸(上行結腸からS状結腸)の悪性腫瘍
- 胃の悪性腫瘍
- 肝・肝内胆管の悪性腫瘍(結索性を含む。)
- 小腸の悪性腫瘍
- 直腸肛門(直腸・S状結腸から肛門)の悪性腫瘍
- 非ホジキンリンパ腫
- 膀胱腫瘍
- 臓腑の腫瘍
- 卵巣・子宮附属器の悪性腫瘍
- 乳房の悪性腫瘍
- 急性白血病

図表2-⑦-2 計画的再入院における理由のうち「計画的な化学療法のため」「計画的な放射線療法のため」に該当した疾患名別(上位15疾患)・再入院割合



- 疾患名
- 肺の悪性腫瘍
 - 子宮頸・体部の悪性腫瘍
 - 食道の悪性腫瘍(頸部を含む。)
 - 前立腺の悪性腫瘍
 - 大腸(上行結腸からS状結腸)の悪性腫瘍
 - 胃の悪性腫瘍
 - 肝・胆管内胆管の悪性腫瘍(結核性を含む。)
 - 小腸の悪性腫瘍
 - 直腸肛門(直腸・S状結腸から肛門)の悪性腫瘍
 - 非ホジキンリンパ腫
 - 膀胱腫瘍
 - 臓臓の腫瘍
 - 卵巣・子宮附属器の悪性腫瘍
 - 乳房の悪性腫瘍
 - 急性白血病

図表2-8 計画的再入院における理由のうち「計画的な化学療法のため」「計画的な放射線療法のため」を除いた
前回入院と今回入院の病名同異別・退院症例に対する再入院事由比率

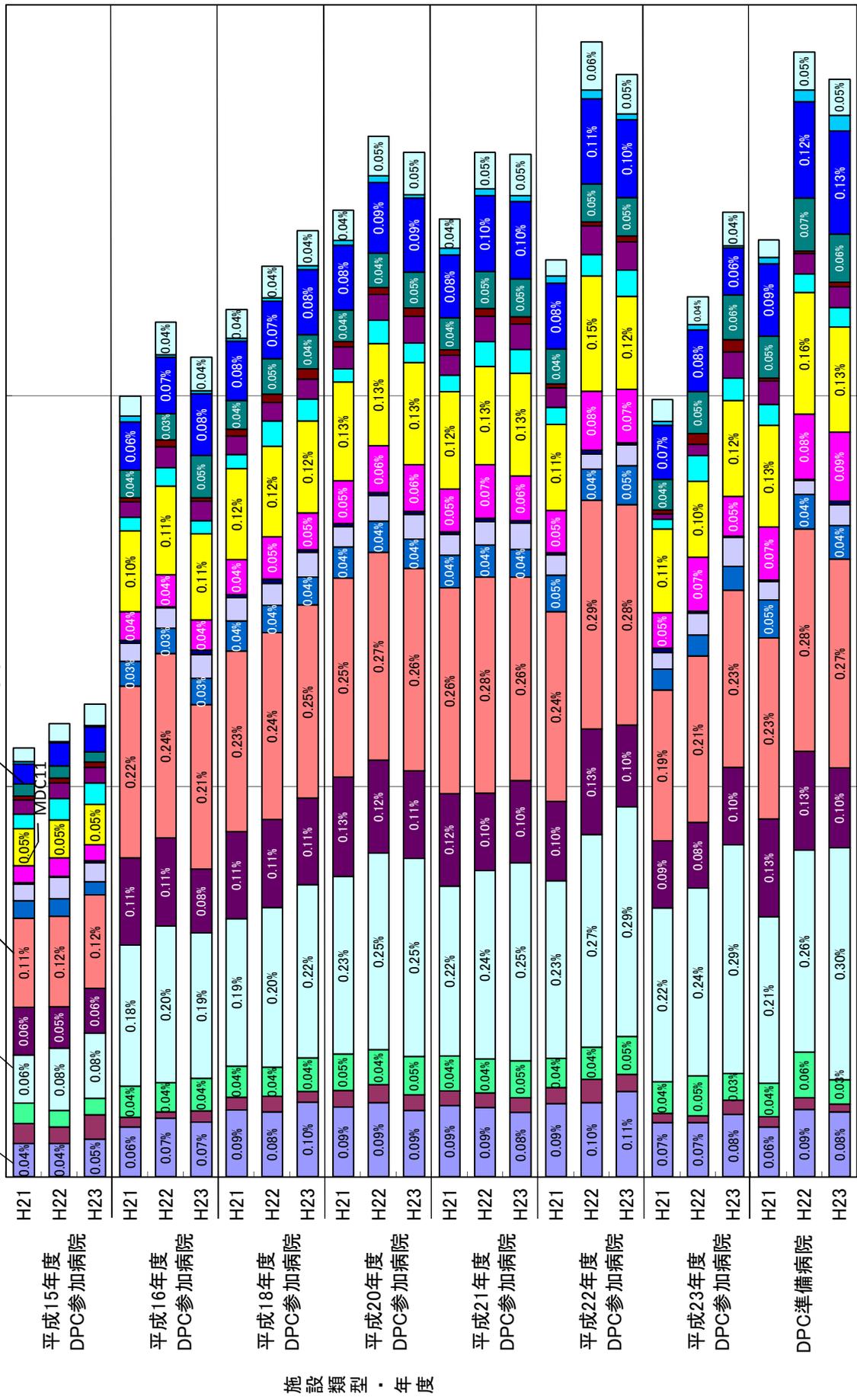


※病名の同異は前回入院の「医療資源を最も投入した傷病名」と今回入院の「入院の契機となった傷病名」から決定される診断群分類の上6桁の同異にて判別した

図表2-9①-1 予期せぬ再入院における理由のうち「新たな他疾患発症のため」に

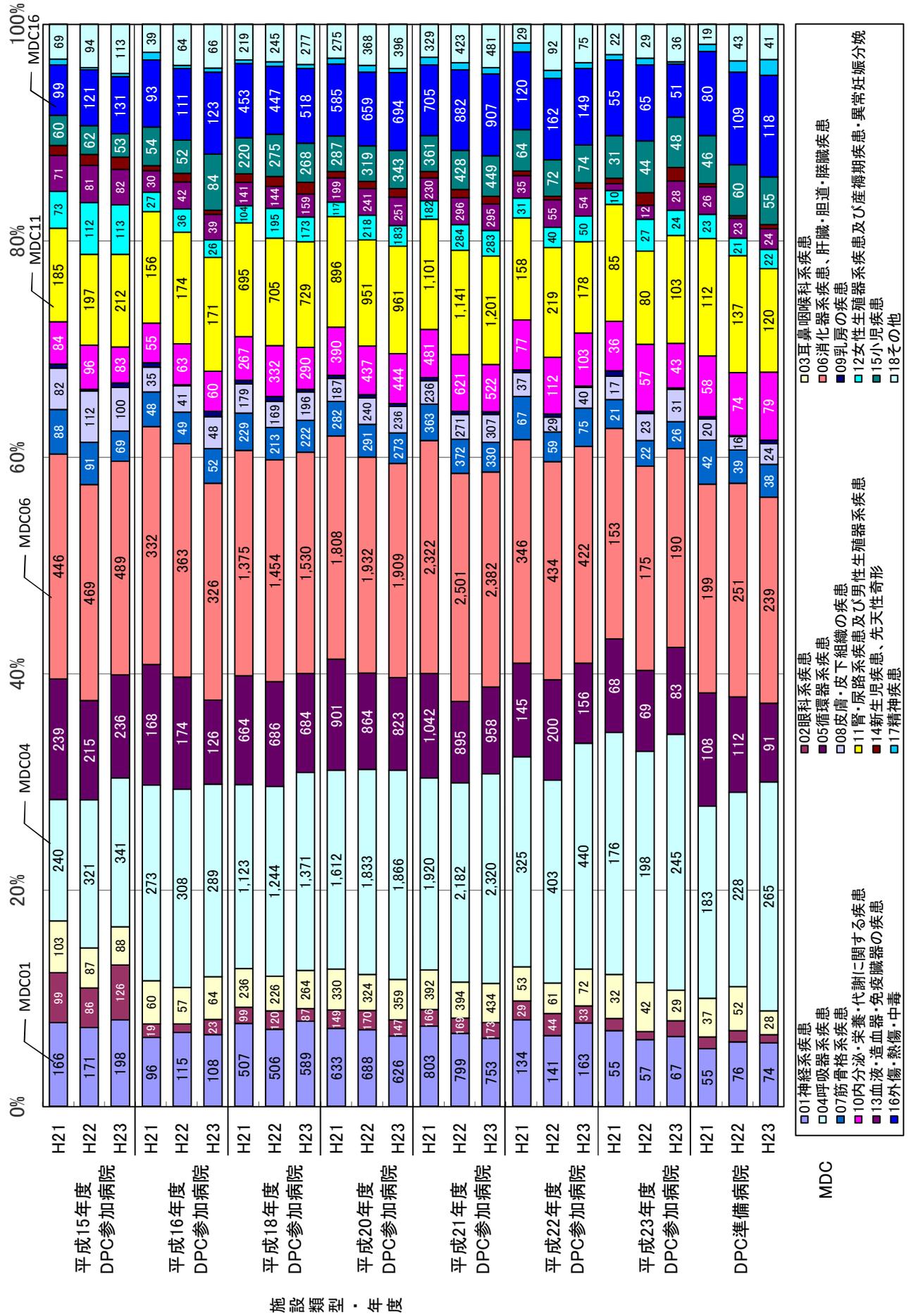
該当した症例のMDC別・退院症例に対する再入院比率

0.0% 0.5% 1.0% 1.5%



- MDC
- 01 神経系疾患
 - 02 眼科系疾患
 - 03 耳鼻咽喉科系疾患
 - 04 呼吸器系疾患
 - 05 循環器系疾患
 - 06 消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患
 - 07 筋骨格系疾患
 - 08 皮膚・皮下組織の疾患
 - 09 乳房の疾患
 - 10 内分泌・栄養・代謝に関する疾患
 - 11 腎・泌尿器系疾患及び男性生殖器系疾患
 - 12 女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩
 - 13 血液・造血器・免疫臓器の疾患
 - 14 新生児疾患、先天性奇形
 - 15 小児疾患
 - 16 外傷・熱傷・中毒
 - 17 精神疾患
 - 18 その他

図表2-9-2 予期せぬ再入院における理由のうち「新たな他疾患発症のため」に該当した症例のMDC別・再入院割合



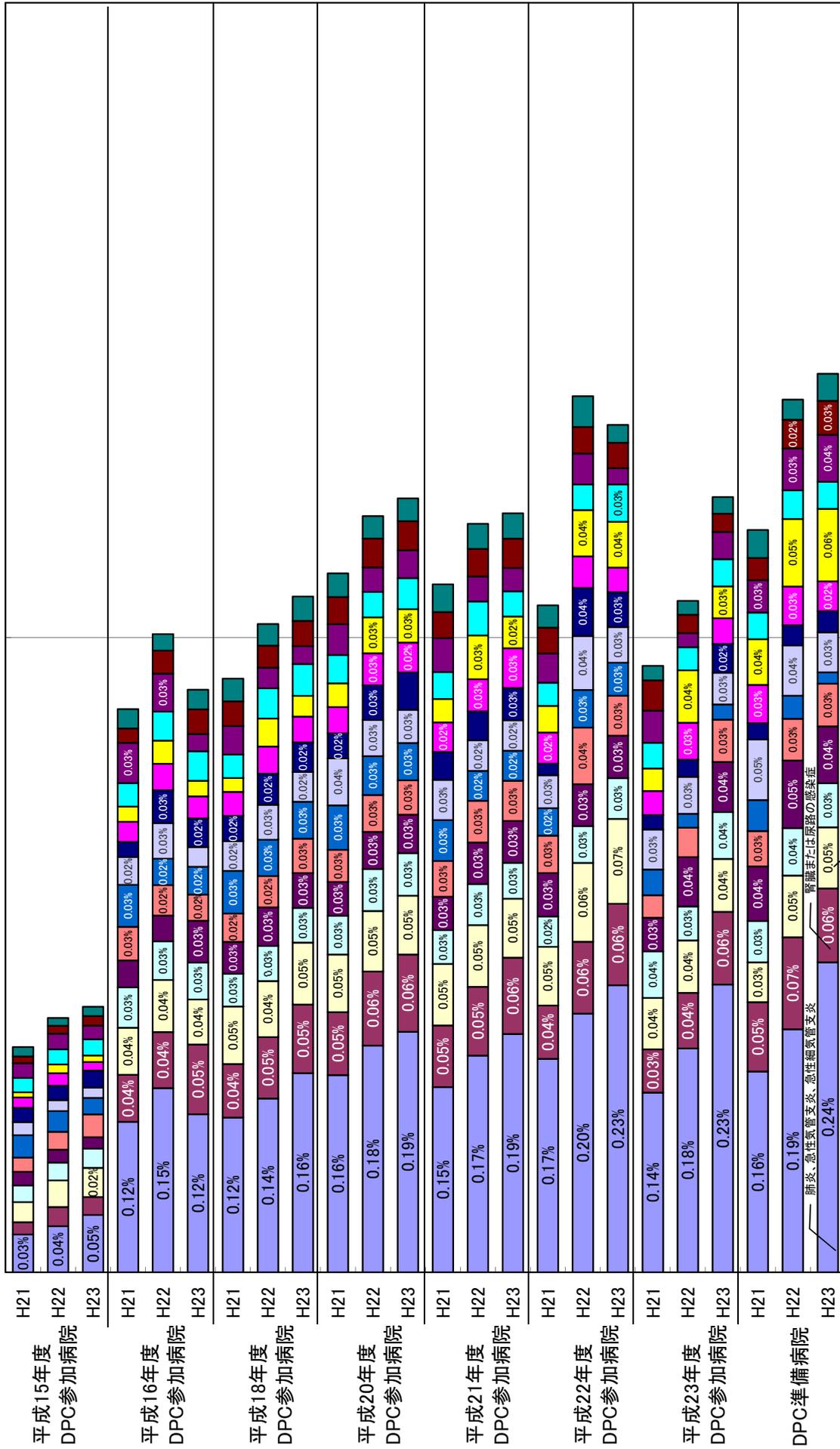
- MDC
- 01神経系疾患
 - 04呼吸器系疾患
 - 07筋骨格系疾患
 - 10内分泌・栄養・代謝に関する疾患
 - 13血液・造血器・免疫臓器の疾患
 - 16外傷・熱傷・中毒
 - 02眼科系疾患
 - 05循環器系疾患
 - 08皮膚・皮下組織の疾患
 - 11腎・尿路系疾患及び男性生殖系疾患
 - 14新生児疾患、先天性奇形
 - 17精神疾患
 - 03耳鼻咽喉科系疾患
 - 06消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患
 - 09乳房の疾患
 - 12女性生殖系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩
 - 15小児疾患
 - 18その他

図表2-⑩-1 予期せぬ再入院における理由のうち「新たな他疾患発症のため」に該当した疾患別(上位15疾患)・退院症例に対する再入院比率

1.0%

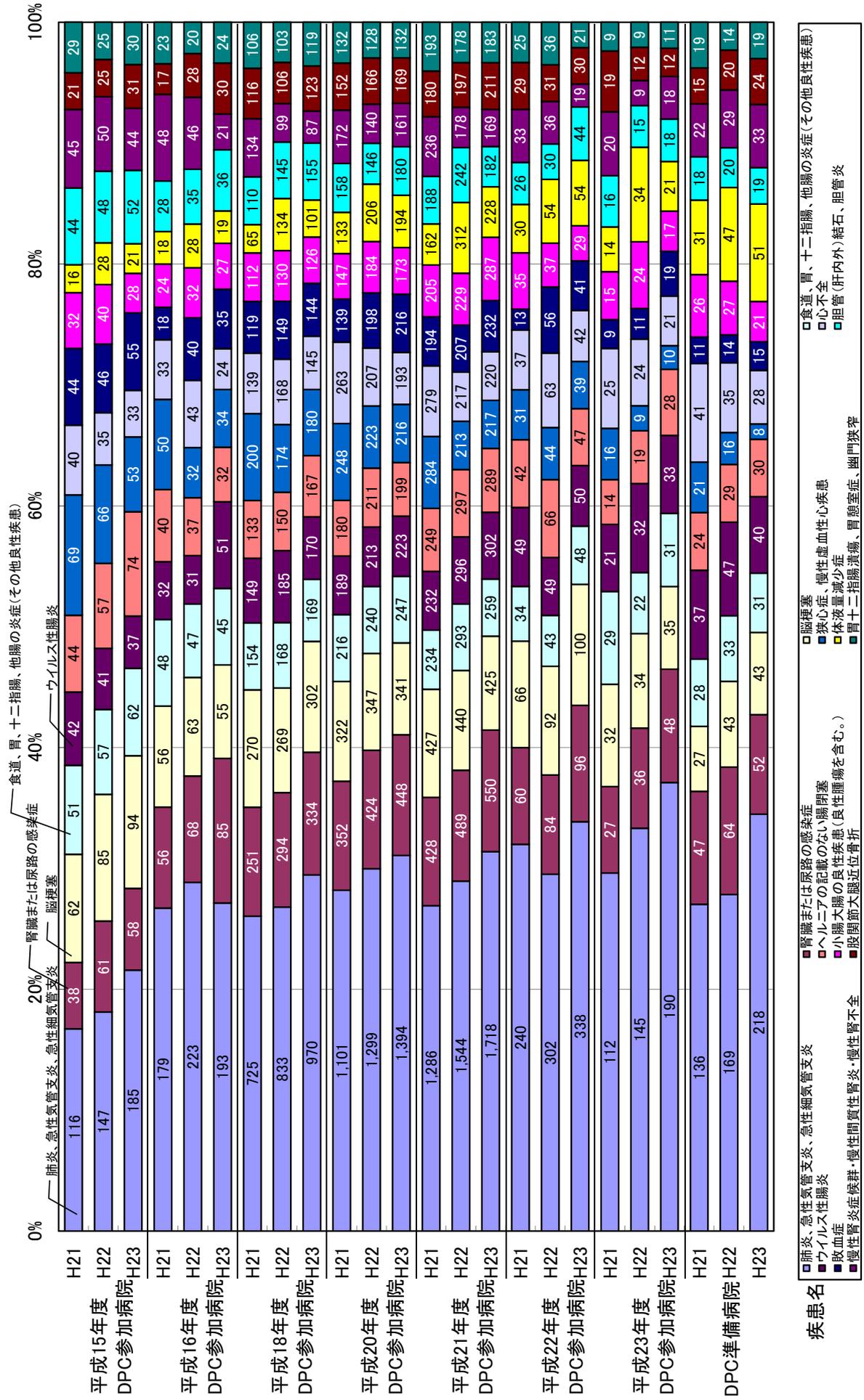
0.5%

0.0%



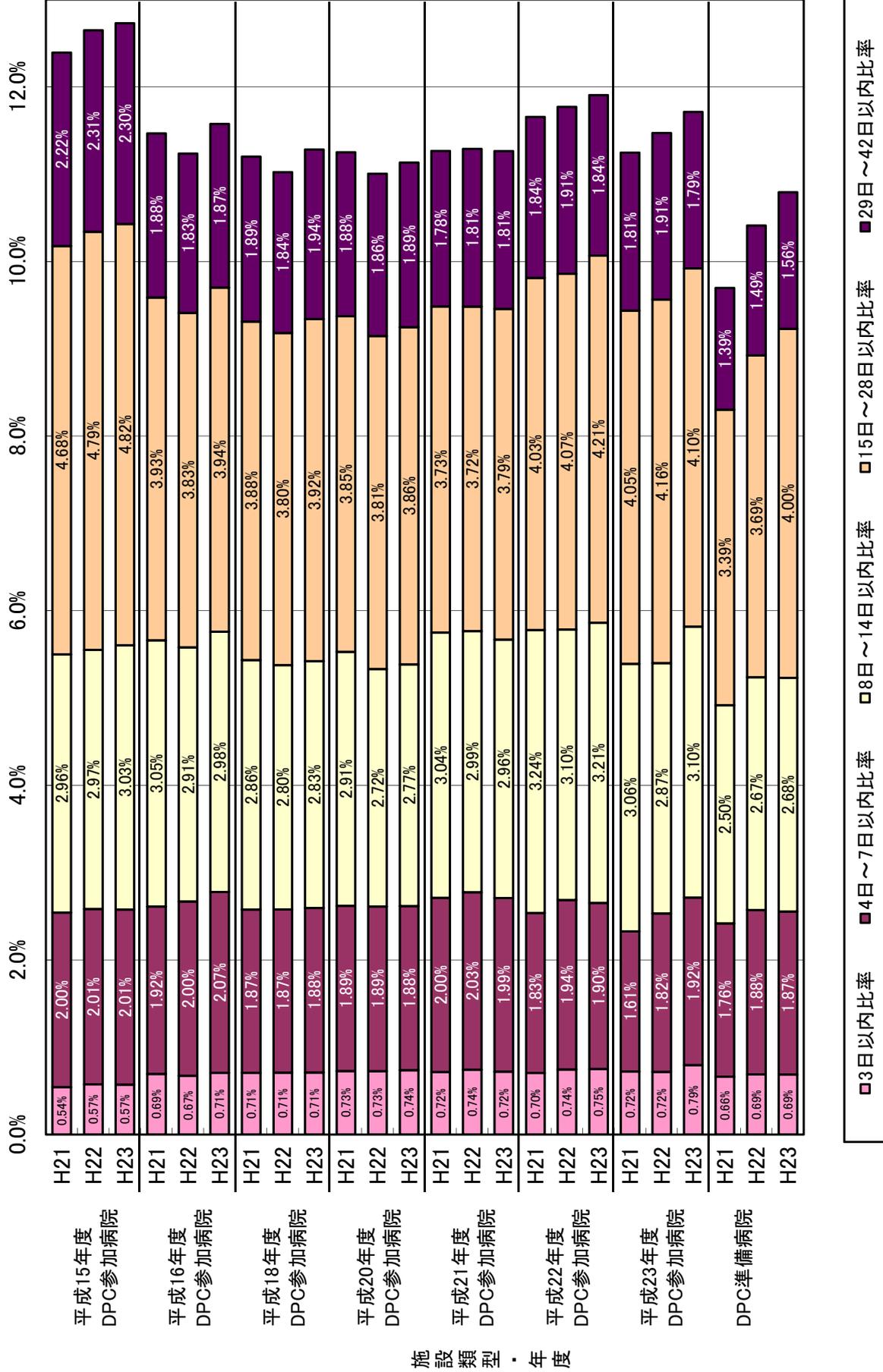
- 疾患名
- 肺炎、急性気管支炎、急性細菌気管支炎
 - ウィルス性腸炎
 - 敗血症
 - 慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全
 - 腎臓または尿管の感染症
 - ヘルニアの記載のない腸閉塞
 - 小腸大腸の良性疾患(良性腫瘍を含む。)
 - 股関節大腿近位骨折
 - 脳梗塞
 - 狭心症、慢性虚血性心疾患
 - 体液量減少症
 - 胃十二指腸潰瘍、胃憩室症、幽門狭窄
 - 食道、胃、十二指腸、他臓の炎症(その他良性疾患)
 - 心不全
 - 胆管(肝内外)結石、胆管炎

図表2-⑩-2 予期せぬ再入院における理由のうち「新たな他疾患発症のため」に該当した疾患名別(上位15疾患)・再入院割合

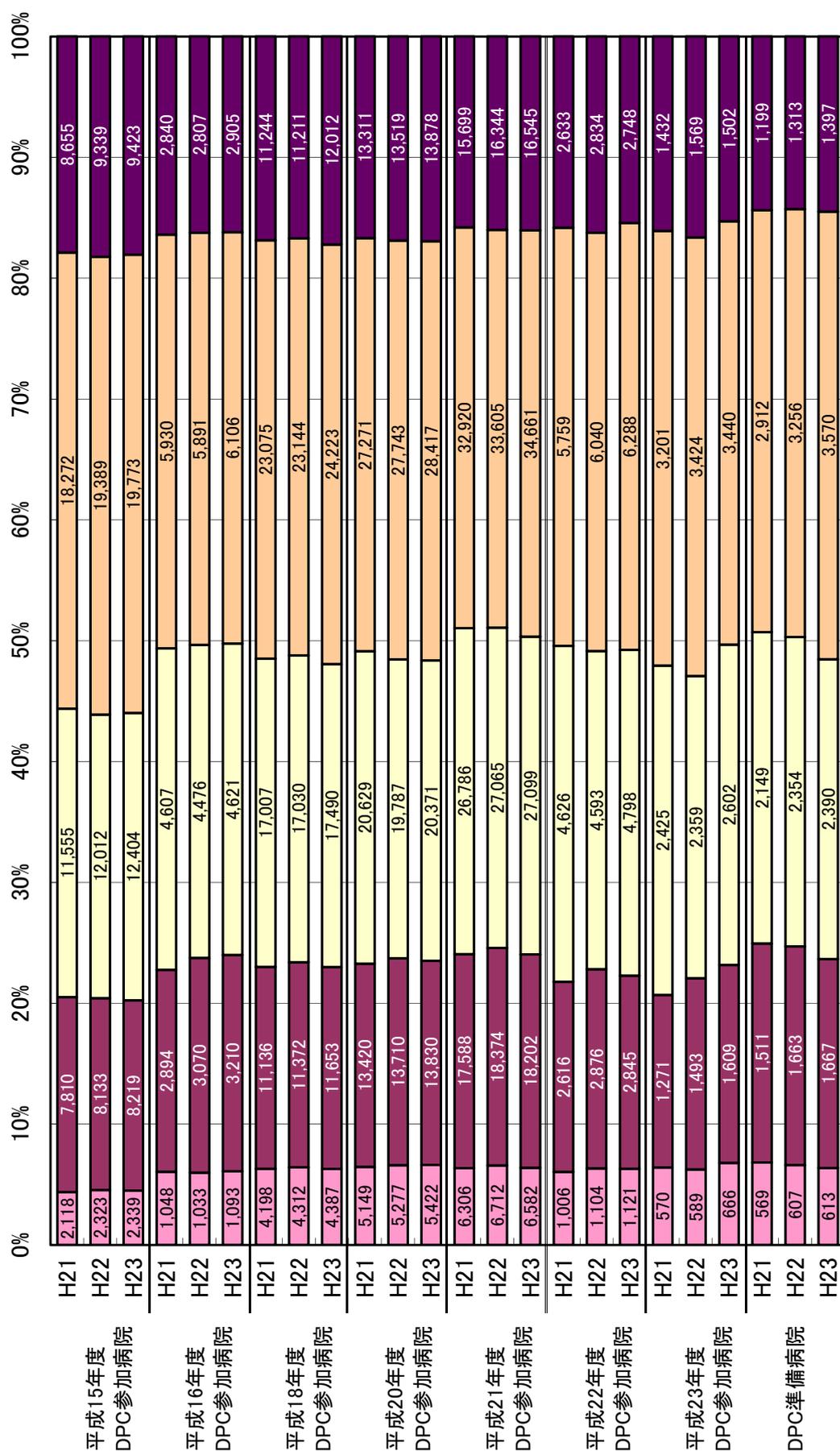


施設類型・年度

図表2-①-1 前回再入院からの期間別・退院症例に対する再入院比率

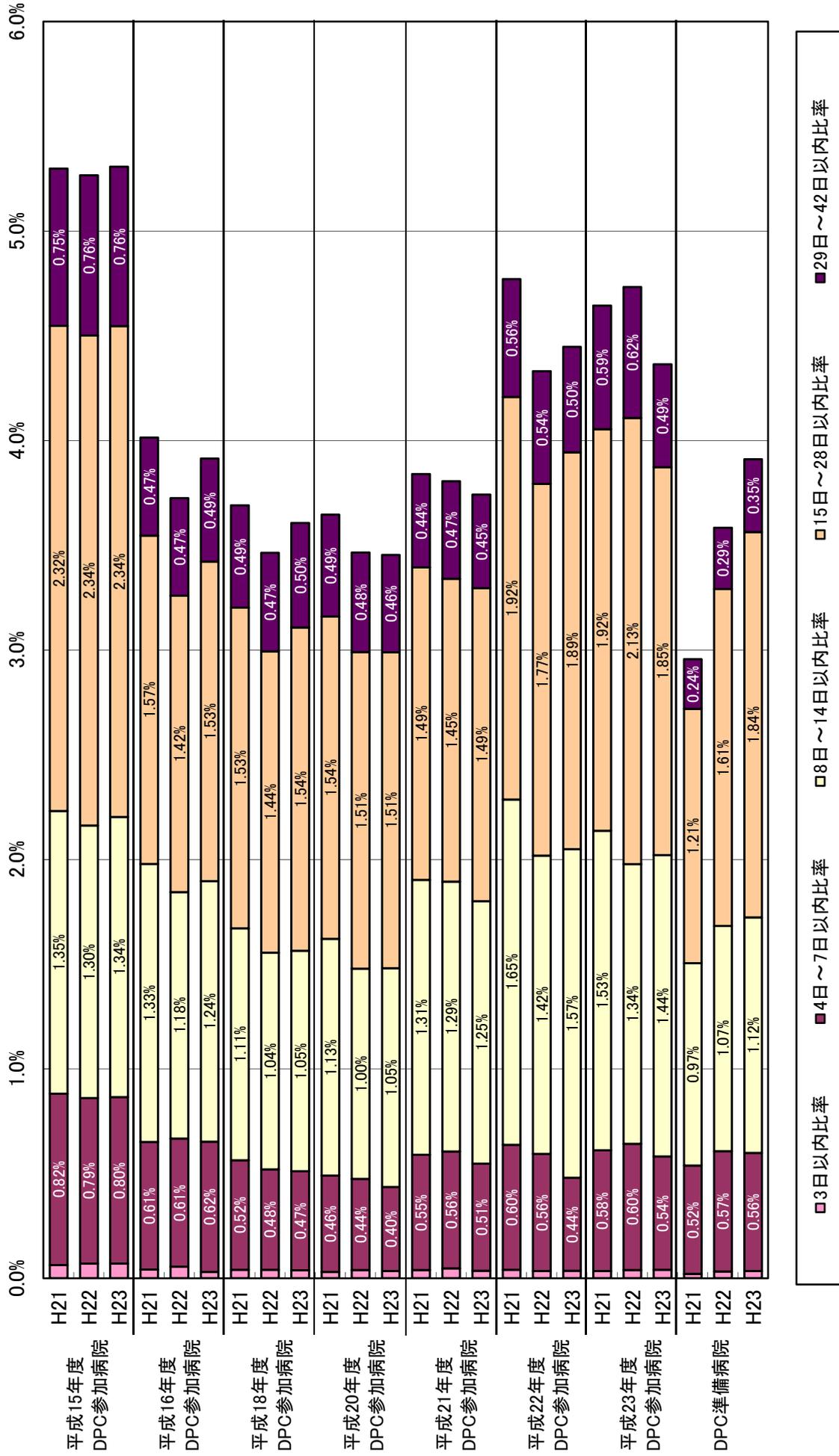


図表2-①-2 前回再入院からの期間別・再入院割合

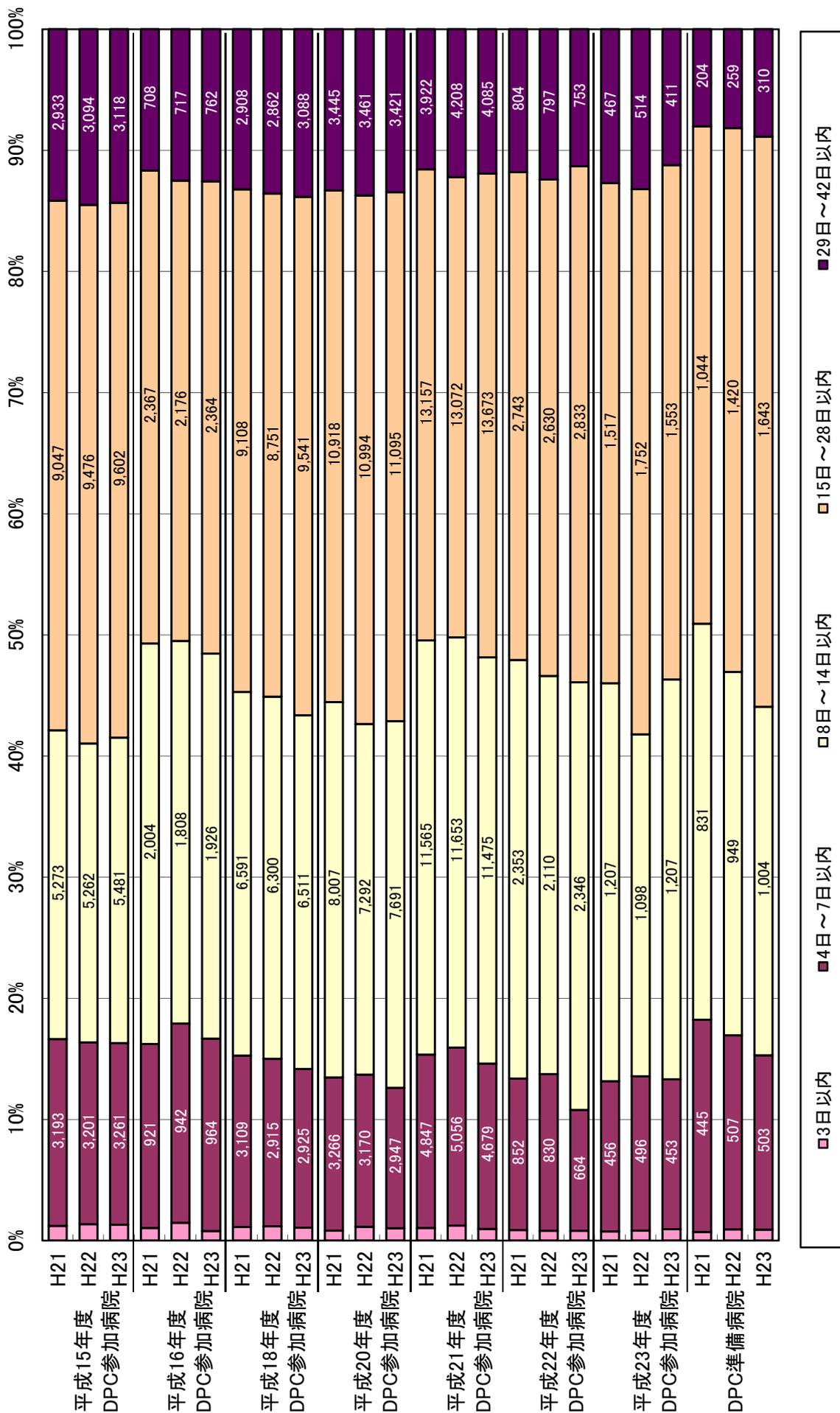


3日以内
 4日～7日以内
 8日～14日以内
 15日～28日以内
 29日～42日以内

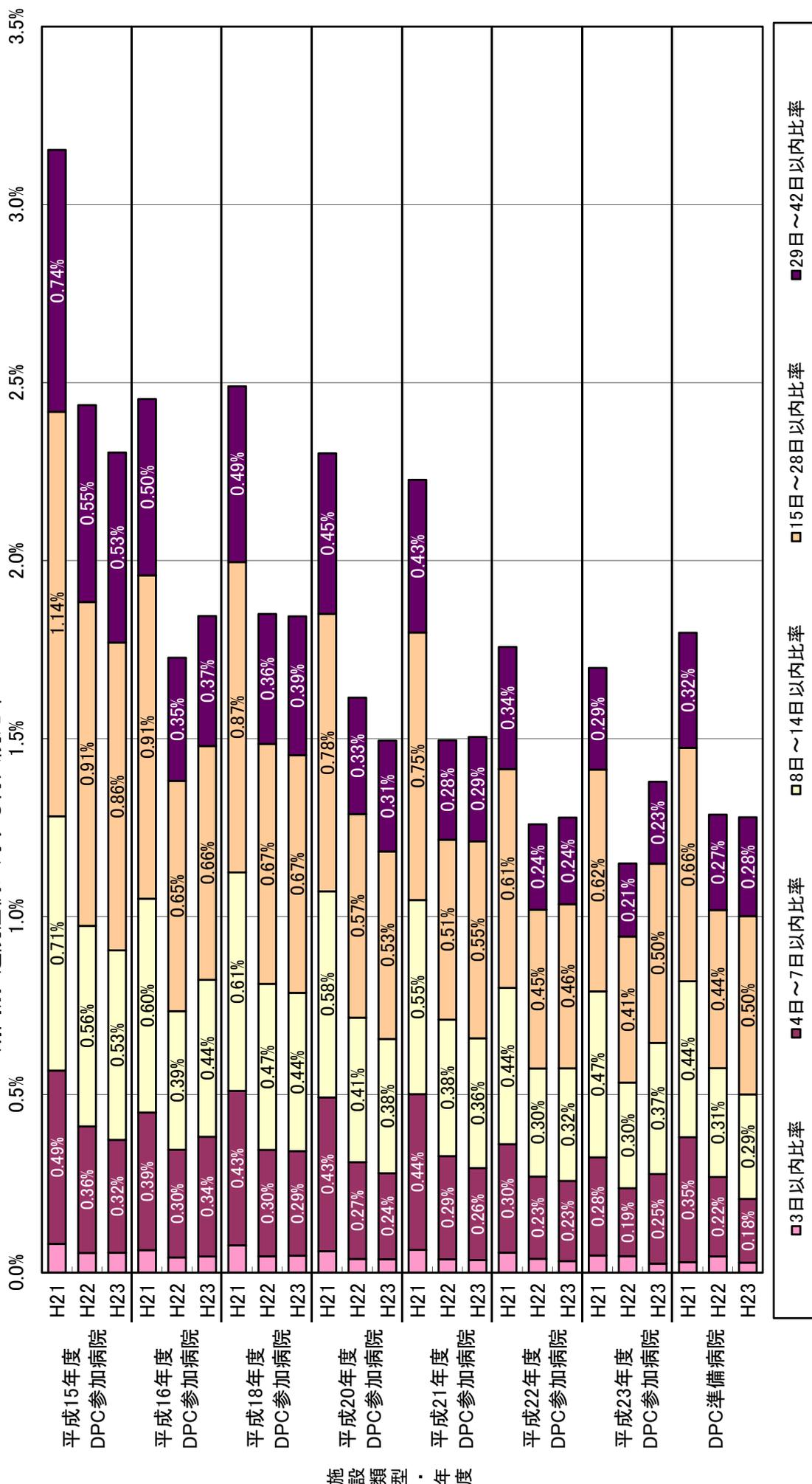
図表2-⑫-1 計画的再入院における理由のうち「計画的な化学療法のため」「計画的な放射線療法のため」の
期間別・退院症例に対する再入院比率



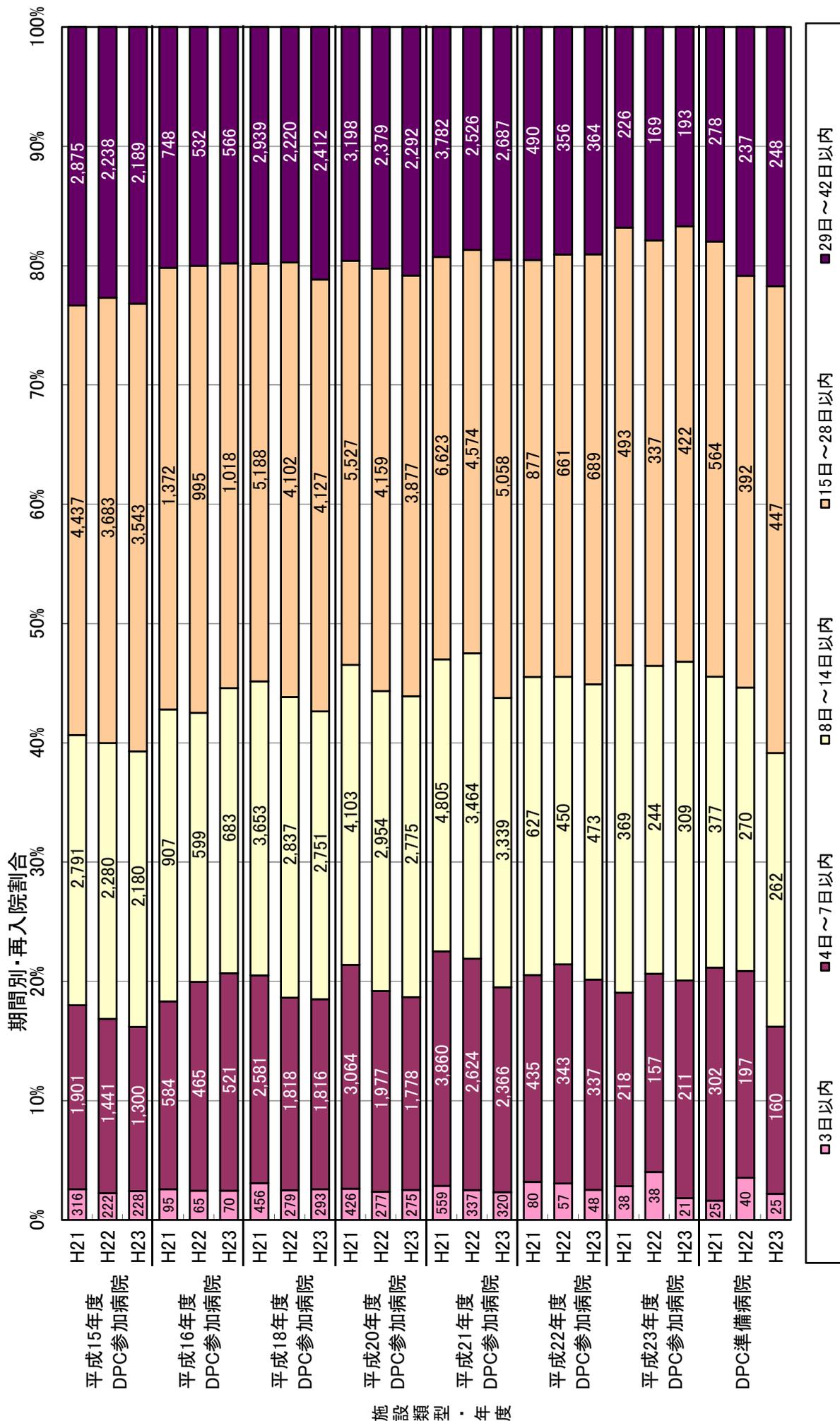
図表2-⑫-2 計画的再入院における理由のうち「計画的な化学療法のため」「計画的な放射線療法のため」の
期間別・再入院割合



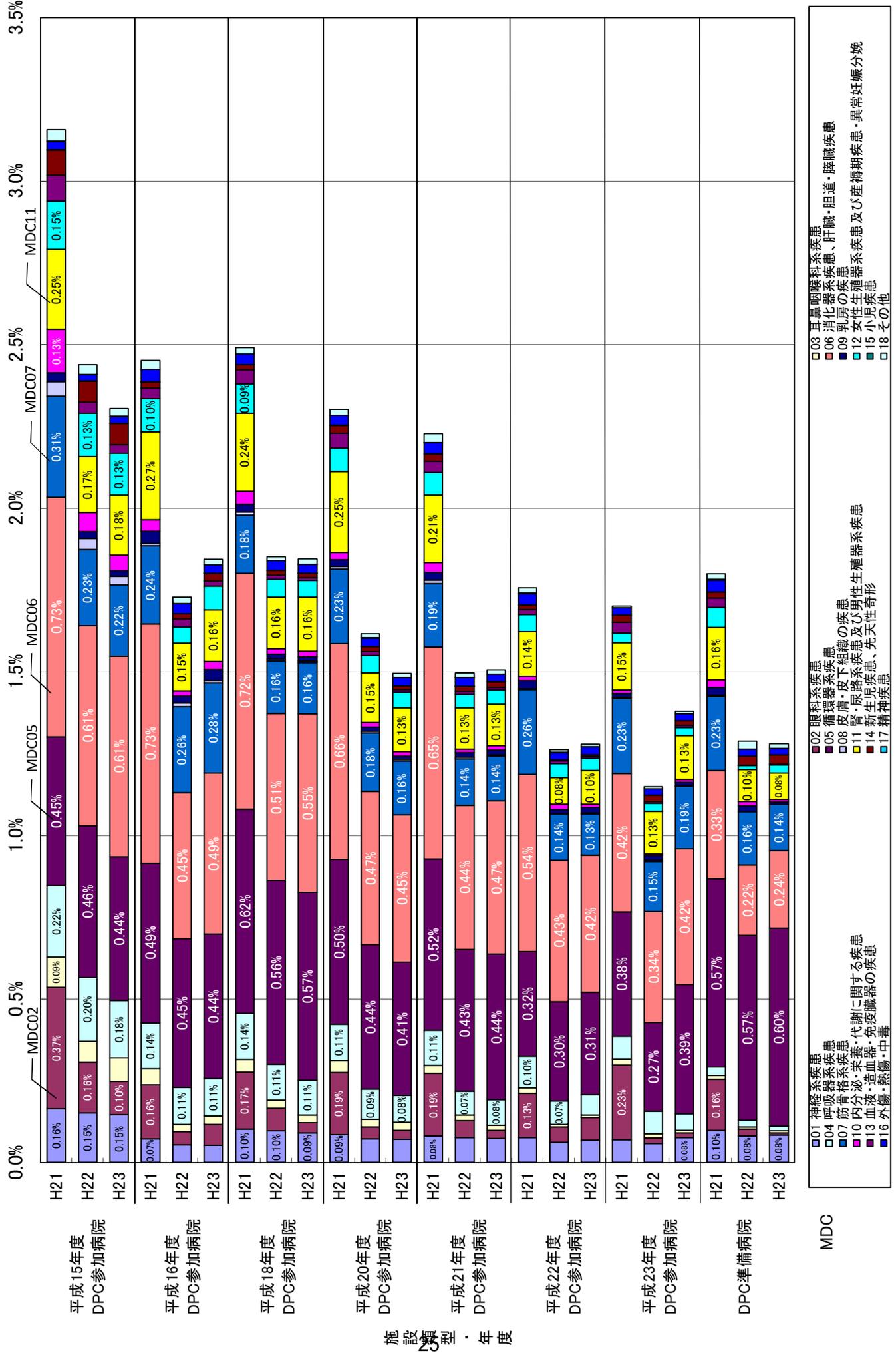
図表2-13-1 計画的再入院における理由のうち「前回入院で術前検査等を行い、今回入院で手術を行うため」と「前回入院以前に手術を行い、今回入院で計画的に術後の手術・処置・検査を行うため」の期間別・退院症例に対する再入院比率



図表2-⑬-2 計画的再入院における理由のうち「前回入院で術前検査等を行い、今回入院で手術を行うため」と「前回入院以前に手術を行い、今回入院で計画的に術後の手術・処置・検査を行うため」の

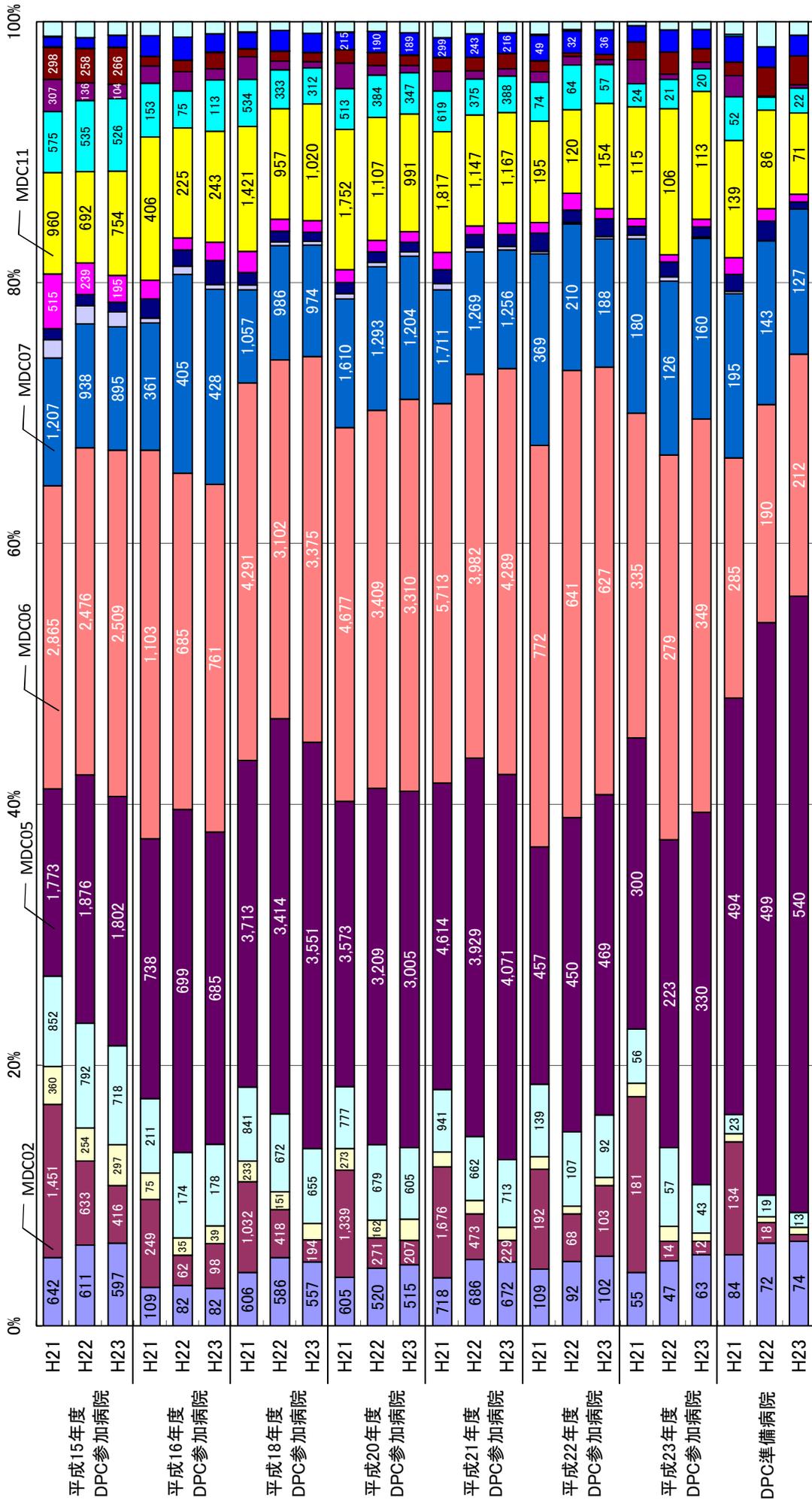


図表2-⑭-1 計画的再入院における理由のうち「前回入院で術前検査等を行い、今回入院で手術を行うため」と「前回入院以前に手術を行い、今回入院で計画的に術後の手術・処置・検査を行うため」に該当した症例のMDC別・退院症例に対する再入院比率



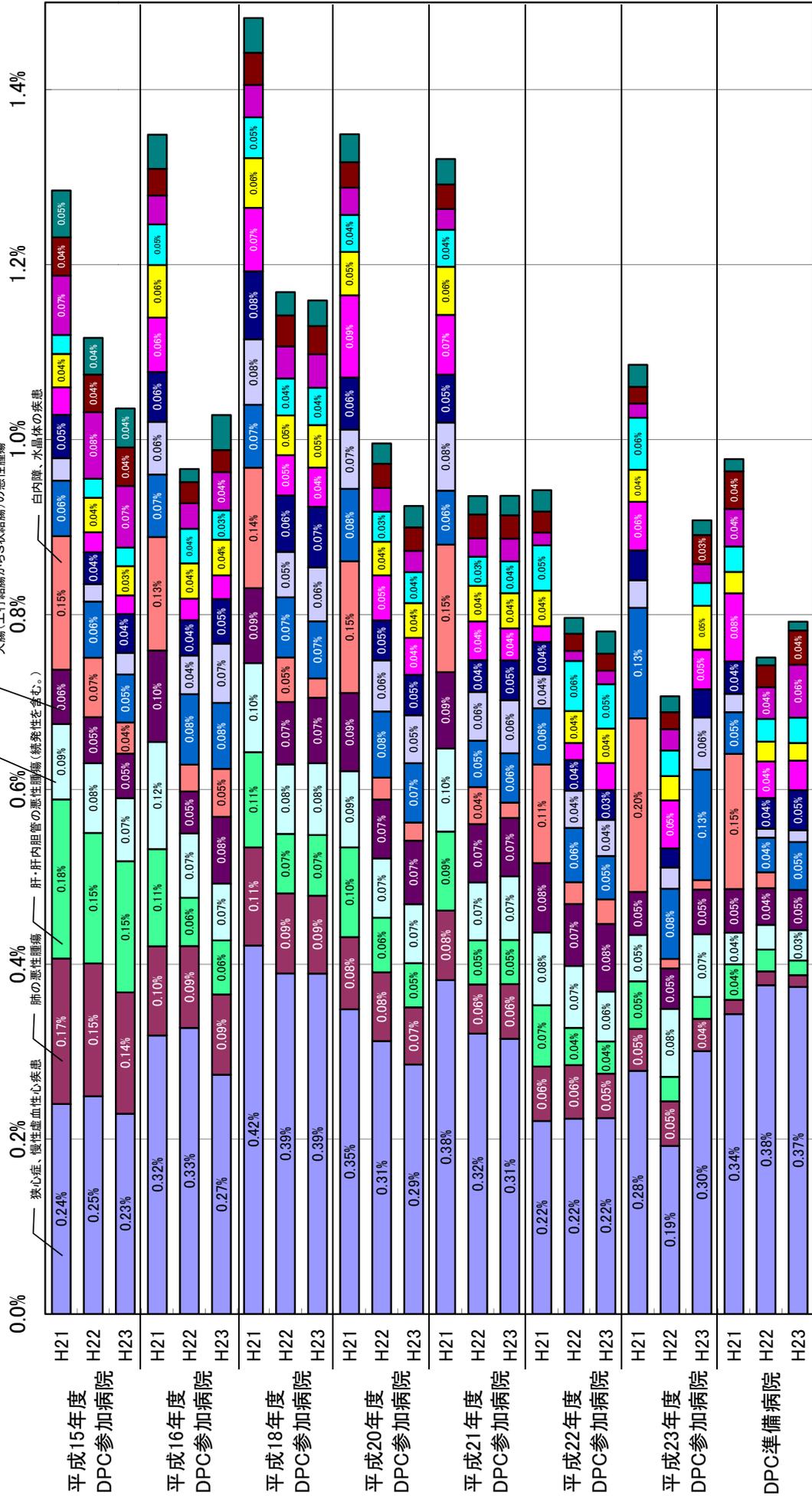
- MDC
- 01 神経系疾患
 - 02 眼科系疾患
 - 03 耳鼻咽喉科系疾患
 - 04 呼吸器系疾患
 - 05 循環器疾患
 - 06 消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患
 - 07 筋骨格系疾患
 - 08 皮膚・皮下組織の疾患
 - 09 乳房の疾患
 - 10 内分泌・栄養・代謝に関する疾患
 - 11 腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患
 - 12 女性の疾患
 - 13 血液・造血器・免疫臓器の疾患
 - 14 新生児疾患、先天性奇形
 - 15 小児疾患
 - 16 外傷・熱傷・中毒
 - 17 精神疾患
 - 18 その他

図表2-⑭-2 計画的再入院における理由のうち「前回入院で術前検査等を行い、今回入院で手術を行うため」と「前回入院以前に手術を行い、今回入院で計画的に術後の手術・処置・検査を行うため」に該当した症例のMDC別・再入院割合



- MDC
- 01神経系疾患
 - 04呼吸器系疾患
 - 07筋骨格系疾患
 - 10内分泌・栄養・代謝に関する疾患
 - 13血液・造血器・免疫臓器の疾患
 - 16外傷・熱傷・中毒
 - 02眼科系疾患
 - 05循環器系疾患
 - 08皮膚・皮下組織の疾患
 - 11腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患
 - 14新生児疾患、先天性奇形
 - 17精神疾患
 - 03耳鼻咽喉科系疾患
 - 06消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患
 - 09乳房の疾患
 - 12女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩
 - 15小児疾患
 - 18その他

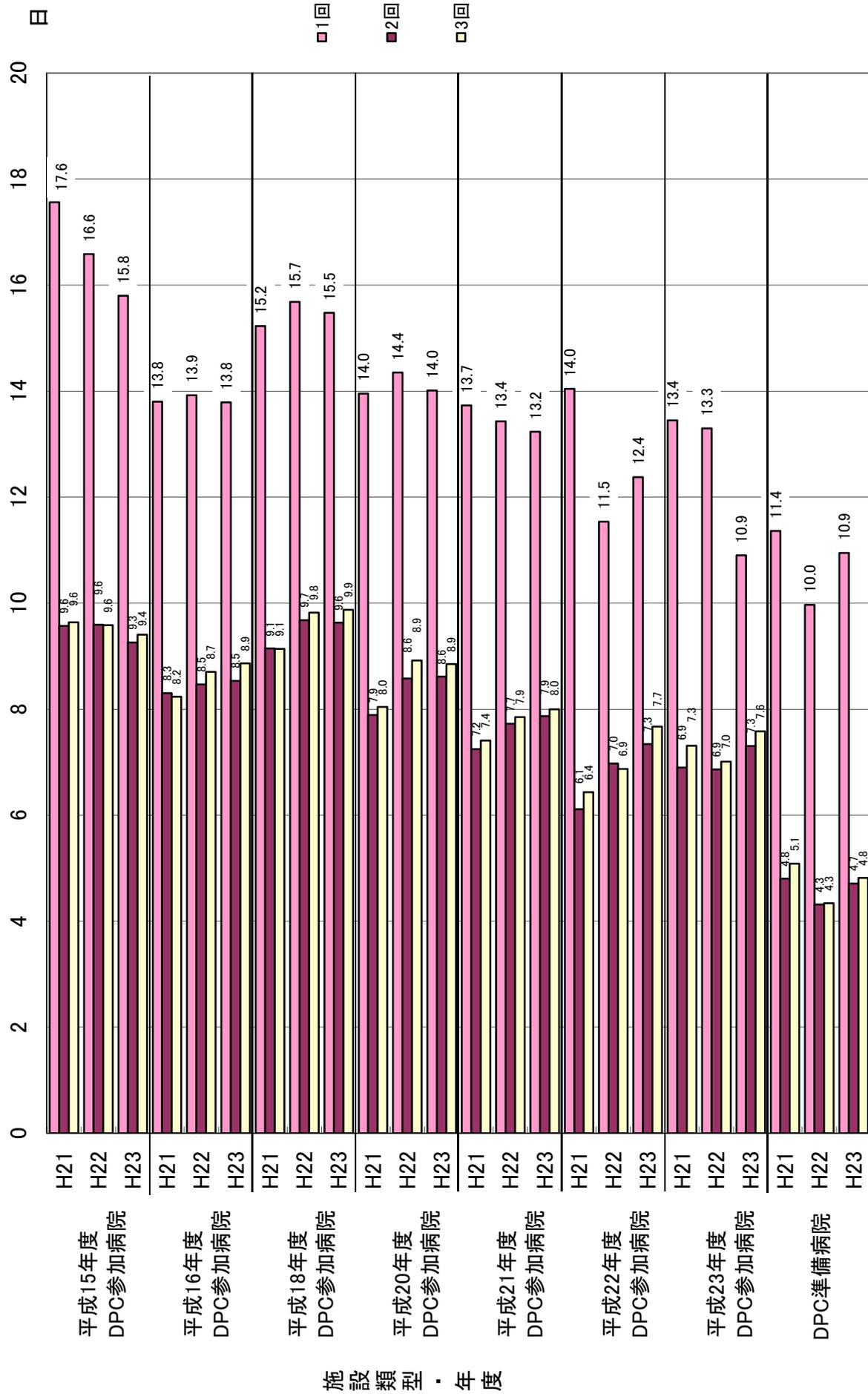
図表2-⑮-1 計画的再入院における理由のうち「前回入院で術前検査等を行い、今回入院で手術を行うため」と「前回入院以前に手術を行い、今回入院で計画的に術後の手術・処置・検査を行うため」に該当した疾患名別(上位15疾患)・退院症例に対する再入院比率



疾患名

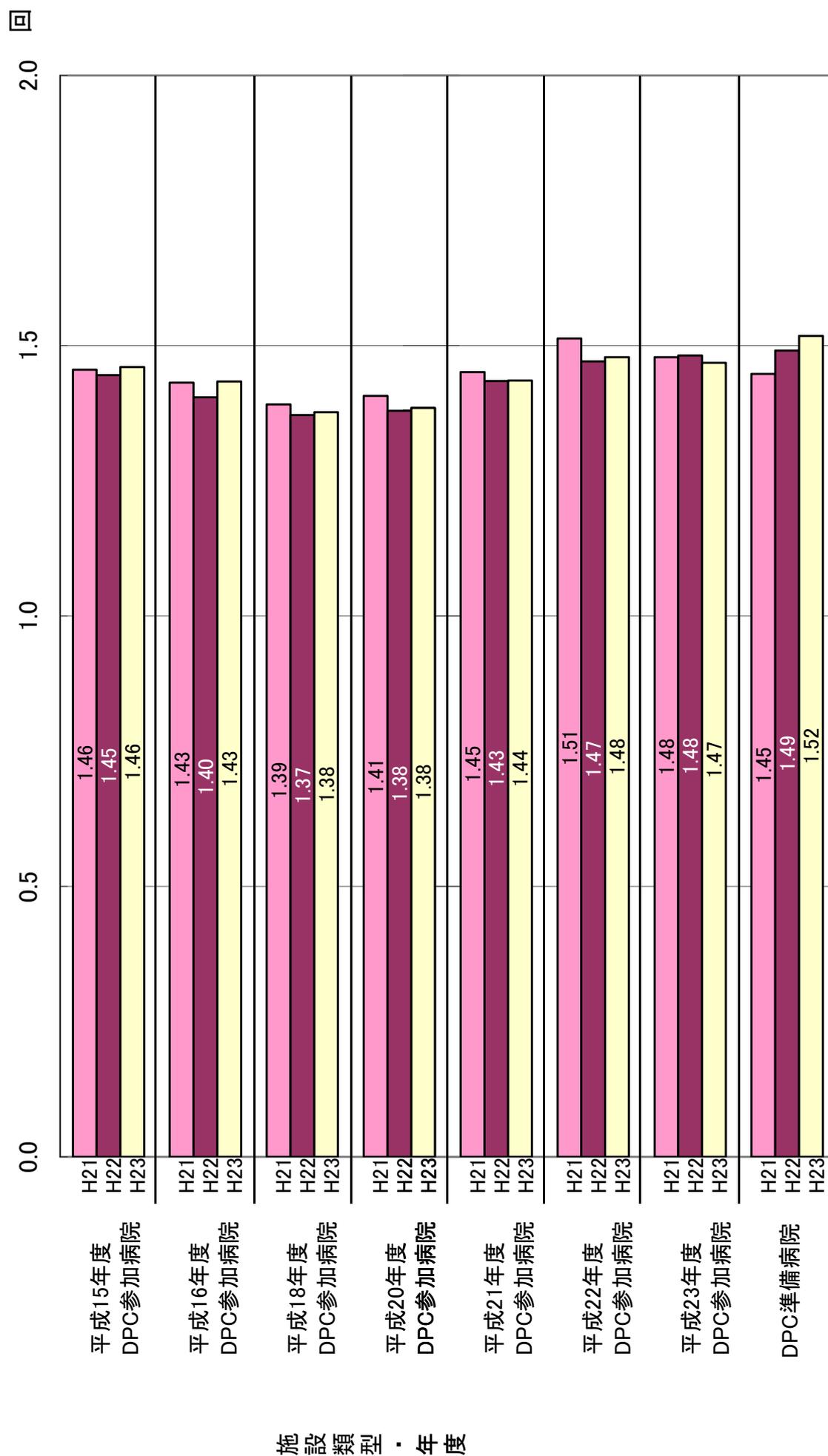
- 狭心症、慢性虚血性心疾患
- 大腸(上行結腸からS状結腸)の悪性腫瘍
- 閉塞性動脈疾患
- 非破裂性大動脈瘤、腸骨動脈瘤
- 肺の悪性腫瘍
- 白内障、水晶体の疾患
- 上部尿路結石
- 脳梗塞
- 肝・肝内胆管の悪性腫瘍(結核性を含む。)
- 腰部骨盤
- 直腸肛門(直腸・S状結腸から肛門)の悪性腫瘍
- 膀胱腫瘍
- 胃の悪性腫瘍
- 胆嚢水腫・胆嚢炎等
- 胆嚢疾患(胆嚢結石など)

図表2-16 同一病名で「計画的な化学療法のため」「計画的な放射線療法のため」「計画的な再入院回数別在院日数

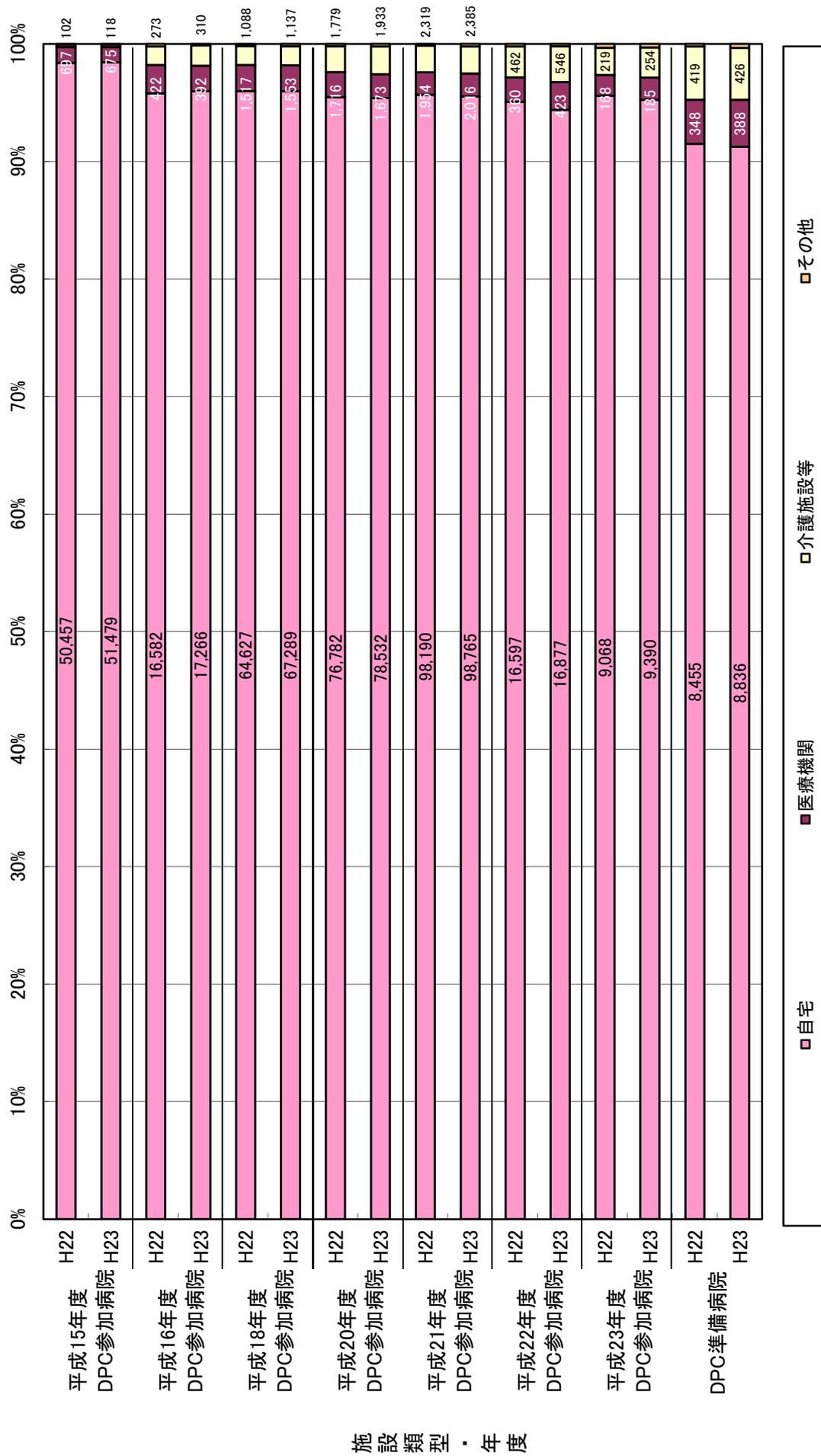


※1回目入院は1回目再入院院が「化学療法・放射線療法あり」の前回入院データのため、再入院理由のデータがなく、様式1から化学療法有無を判別し掲載した
 ※同一病名の有無は前回入院の「医療資源を最も投入した傷病名」と今回入院の「入院の契機となった傷病名」から決定される診断群分類の上6桁の同異にて判別した

図表2-⑰ 1患者あたりの再入院回数(退院症例数/実患者数)



図表2-⑱ 今回入院直前の患者の居所



図表3 平成23年度調査対象医療機関数及び分析データ数

再転棟に係る調査

1. 調査対象病院数と回診病院数

施設類型	再転棟調査対象病院数(A)			再転棟調査回診病院数(B)			再転棟調査回診病院率(B/A)		
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
平成15年度DPC参加病院	23	30	25	23	30	25	100.0%	100.0%	100.0%
平成16年度DPC参加病院	16	16	17	16	16	17	100.0%	100.0%	100.0%
平成18年度DPC参加病院	66	58	71	66	58	71	100.0%	100.0%	100.0%
平成20年度DPC参加病院	136	136	139	136	136	139	100.0%	100.0%	100.0%
平成21年度DPC参加病院	219	227	243	219	227	243	100.0%	100.0%	100.0%
平成22年度DPC参加病院	50	54	59	50	54	59	100.0%	100.0%	100.0%
平成23年度DPC参加病院	18	27	27	18	27	27	100.0%	100.0%	100.0%
平成18,19年度新規DPC準備病院	39	35	30	39	35	30	100.0%	100.0%	100.0%
平成20年度新規DPC準備病院	21	20	20	21	20	20	100.0%	100.0%	100.0%
平成21年度新規DPC準備病院	13	13	10	13	13	10	100.0%	100.0%	100.0%
平成22年度新規DPC準備病院	29	29	27	29	29	27	100.0%	100.0%	100.0%
総計	601	647	668	601	647	668	100.0%	100.0%	100.0%

2. 症例数と回診症例数

施設類型	退院症例数(C)			再転棟症例数(D) ^{※1}			回診症例数(E)			回診率(E/D)		
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
平成15年度DPC参加病院	390,658	404,829	409,808	35	65	43	34	64	43	97.1%	98.5%	100.0%
平成16年度DPC参加病院	151,040	153,779	154,900	66	65	66	66	65	66	100.0%	100.0%	100.0%
平成18年度DPC参加病院	595,186	608,500	618,420	277	230	233	277	230	233	100.0%	100.0%	100.0%
平成20年度DPC参加病院	709,144	727,320	735,909	598	634	656	598	634	656	100.0%	100.0%	100.0%
平成21年度DPC参加病院	881,494	904,437	915,240	711	687	776	704	687	775	99.0%	100.0%	99.9%
平成22年度DPC参加病院	142,768	148,239	149,529	130	154	203	130	154	202	100.0%	100.0%	99.5%
平成23年度DPC参加病院	79,131	82,246	83,845	82	126	110	82	126	110	100.0%	100.0%	100.0%
平成18,19年度新規DPC準備病院	47,585	49,381	49,374	117	133	123	117	133	123	100.0%	100.0%	100.0%
平成20年度新規DPC準備病院	22,156	22,522	23,026	90	81	99	90	81	99	100.0%	100.0%	100.0%
平成21年度新規DPC準備病院	16,282	16,406	16,896	35	31	27	35	31	27	100.0%	100.0%	100.0%
平成22年度新規DPC準備病院		60,068	60,614		137	144		137	144		100.0%	100.0%
総計	3,035,444	3,177,747	3,217,621	2,141	2,343	2,480	2,133	2,342	2,478	99.6%	100.0%	99.9%

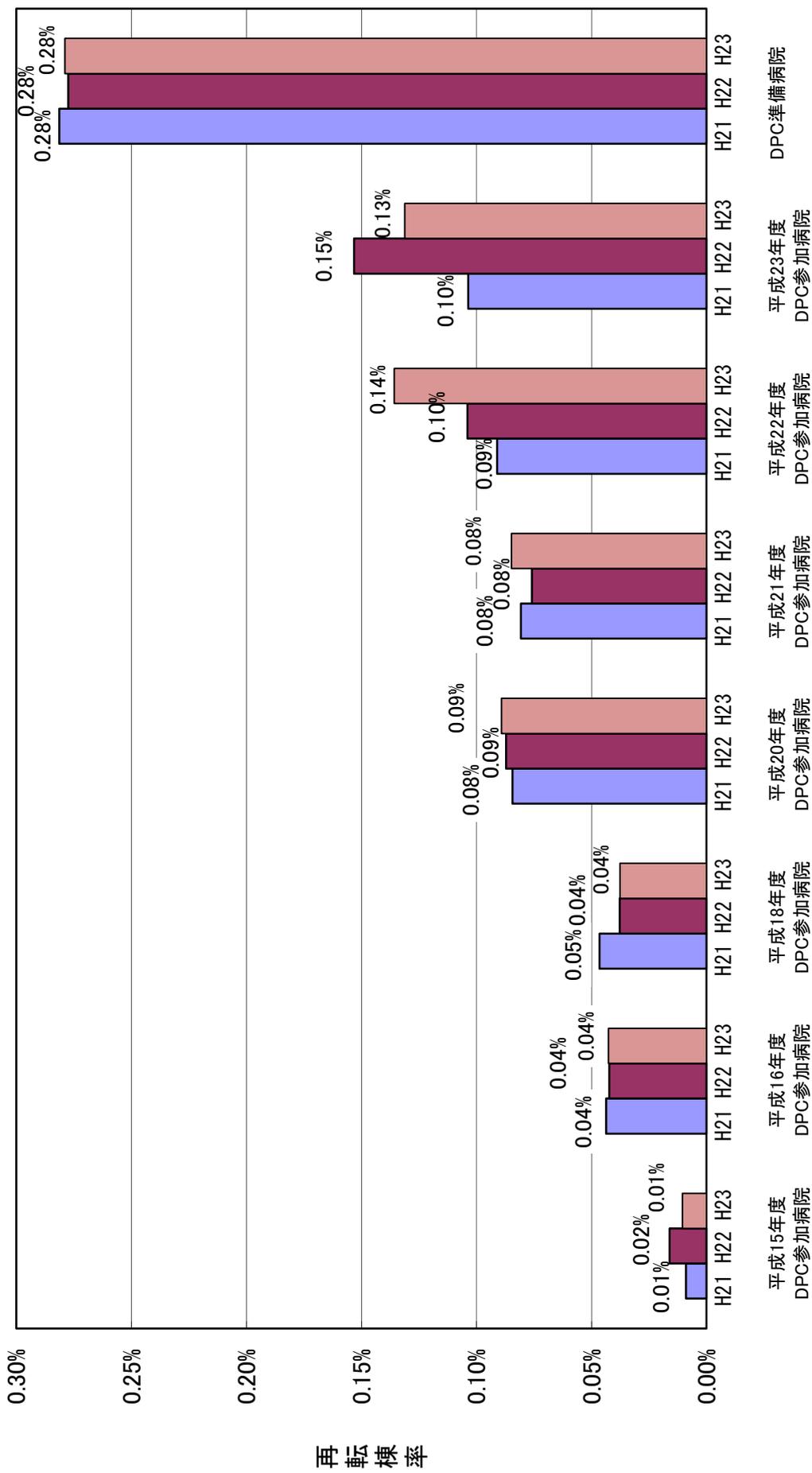
3. 施設類型別 再転棟率

施設類型	再転棟率(D/C)		
	平成21年度	平成22年度	平成23年度
平成15年度DPC参加病院	0.01%	0.02%	0.01%
平成16年度DPC参加病院	0.04%	0.04%	0.04%
平成18年度DPC参加病院	0.05%	0.04%	0.04%
平成20年度DPC参加病院	0.08%	0.09%	0.09%
平成21年度DPC参加病院	0.08%	0.08%	0.08%
平成22年度DPC参加病院	0.09%	0.10%	0.14%
平成23年度DPC参加病院	0.10%	0.15%	0.13%
DPC準備病院 ^{※2}	0.28%	0.28%	0.28%
総計	0.07%	0.07%	0.07%

※1:再転棟症例数は7月～10月の様式1レコードが作成されている症例のうち、1入院内で一般病棟からその他の病棟へ転棟しさらに一般病棟へ再転棟した場合の再転棟数である

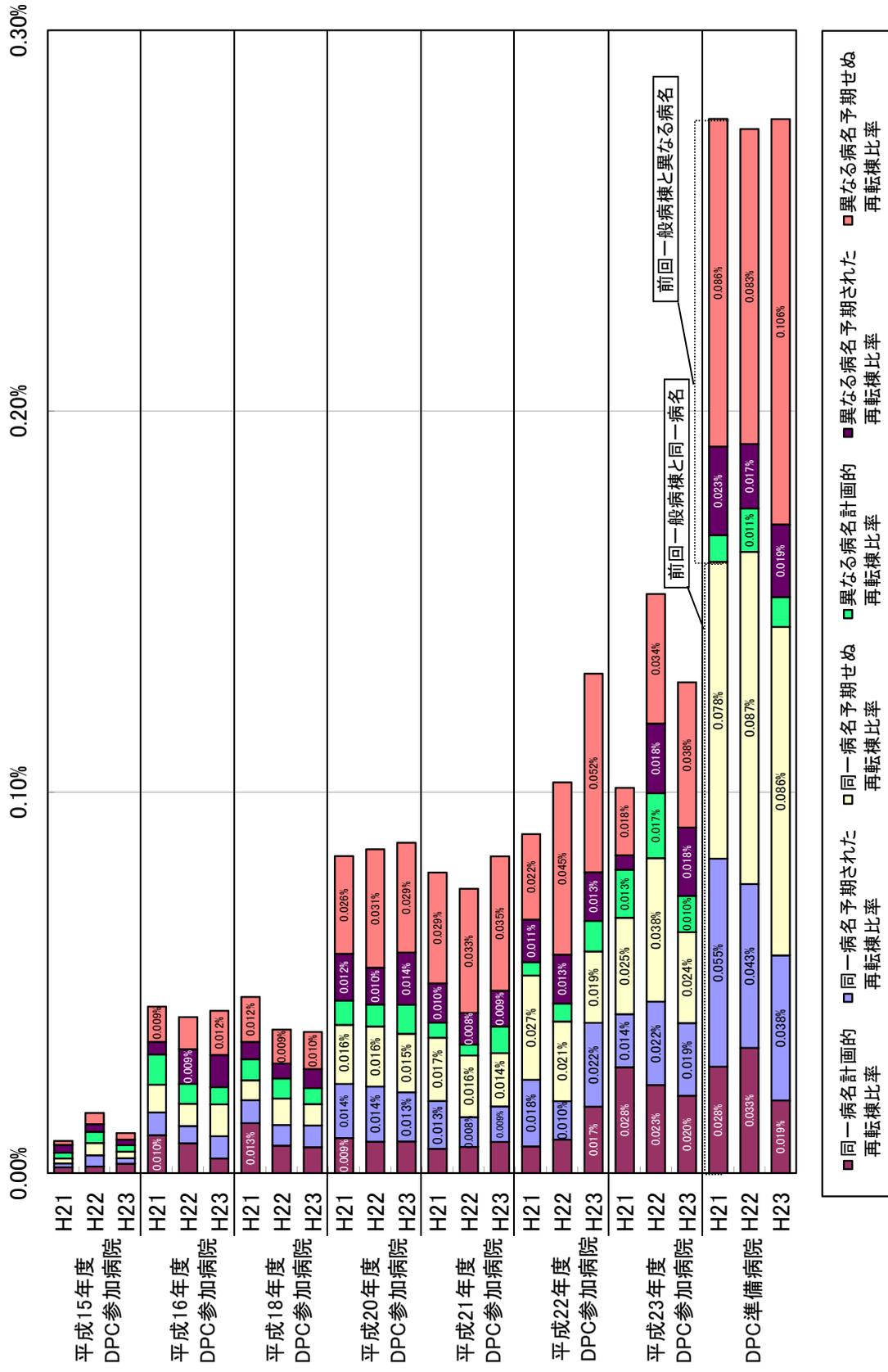
※2:DPC準備病院は5年度分のデータが全て揃っている医療機関を対象とする

図表4-① 年度別・再転棟率



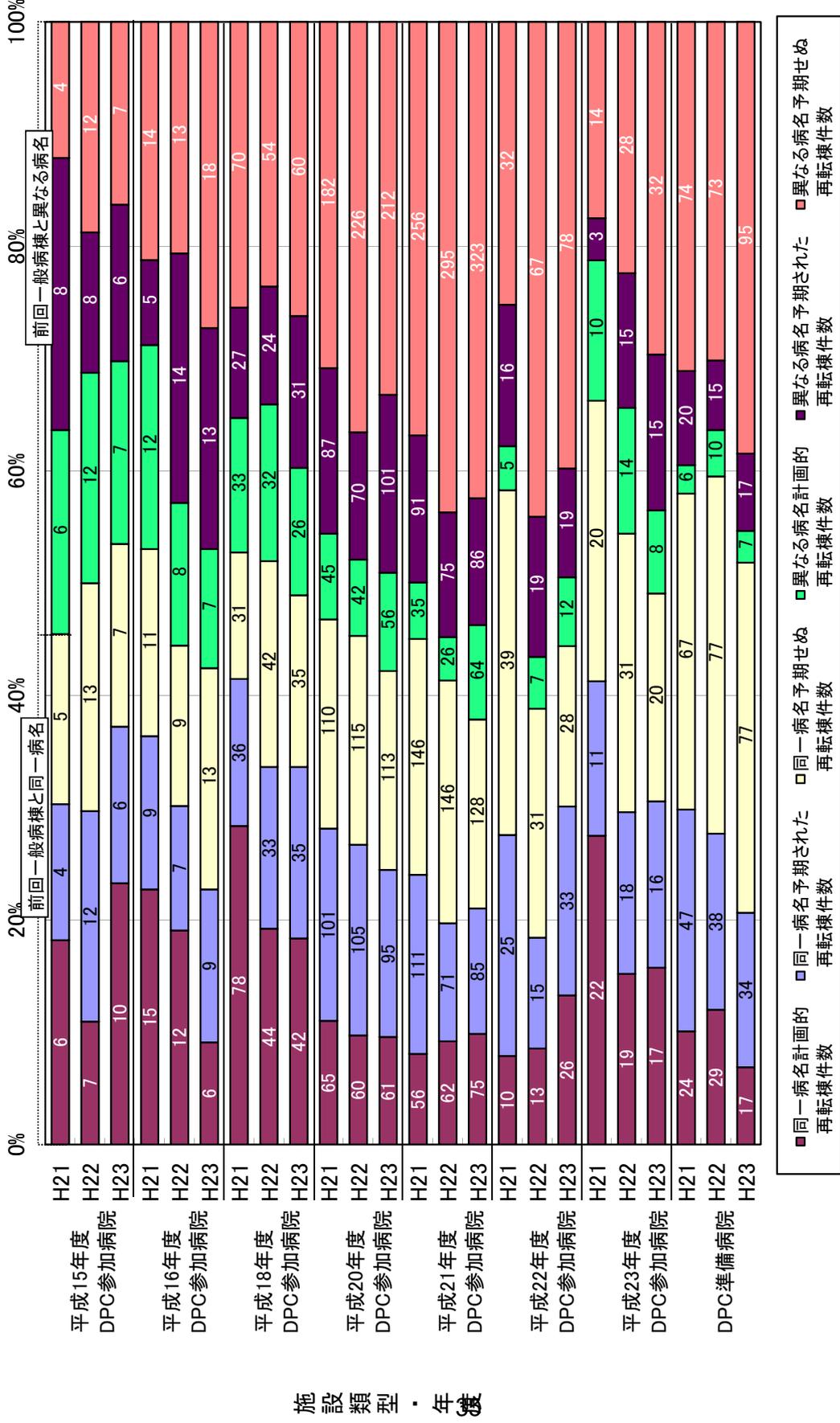
施設類型・年度

図表4-②-1 前回一般病棟と今回一般病棟の病名同異別・退院症例に対する再転棟事由比率



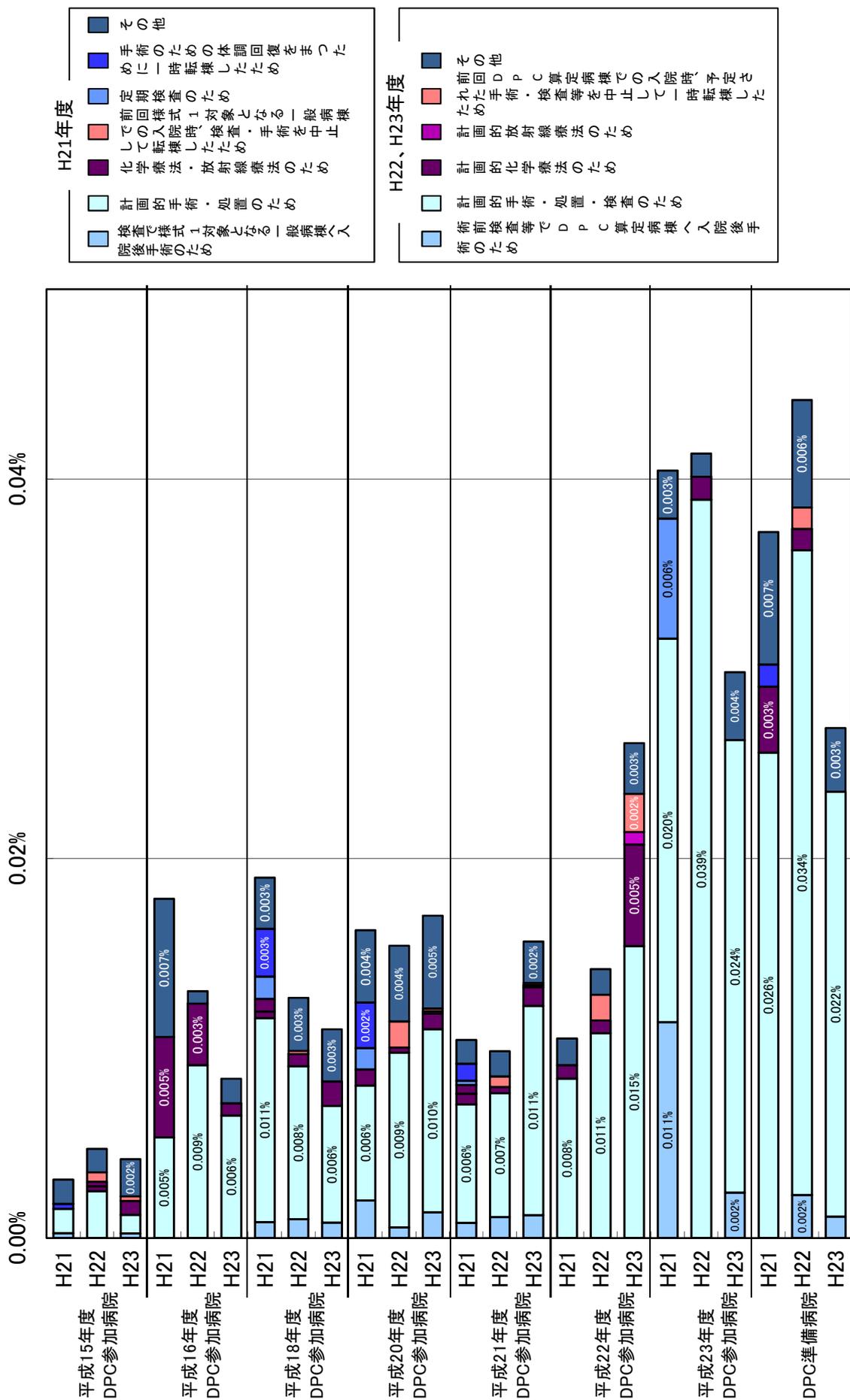
※病名の同異は前回一般病棟子様式10「医療資源を最も投入した傷病名」と今回一般病棟子様式1の「入院の契機となった傷病名」から決定される診断群分類の上6桁の同異にて判別した

図表4-②-2 前回一般病棟と今回一般病棟の病名同異別・再転棟事由割合

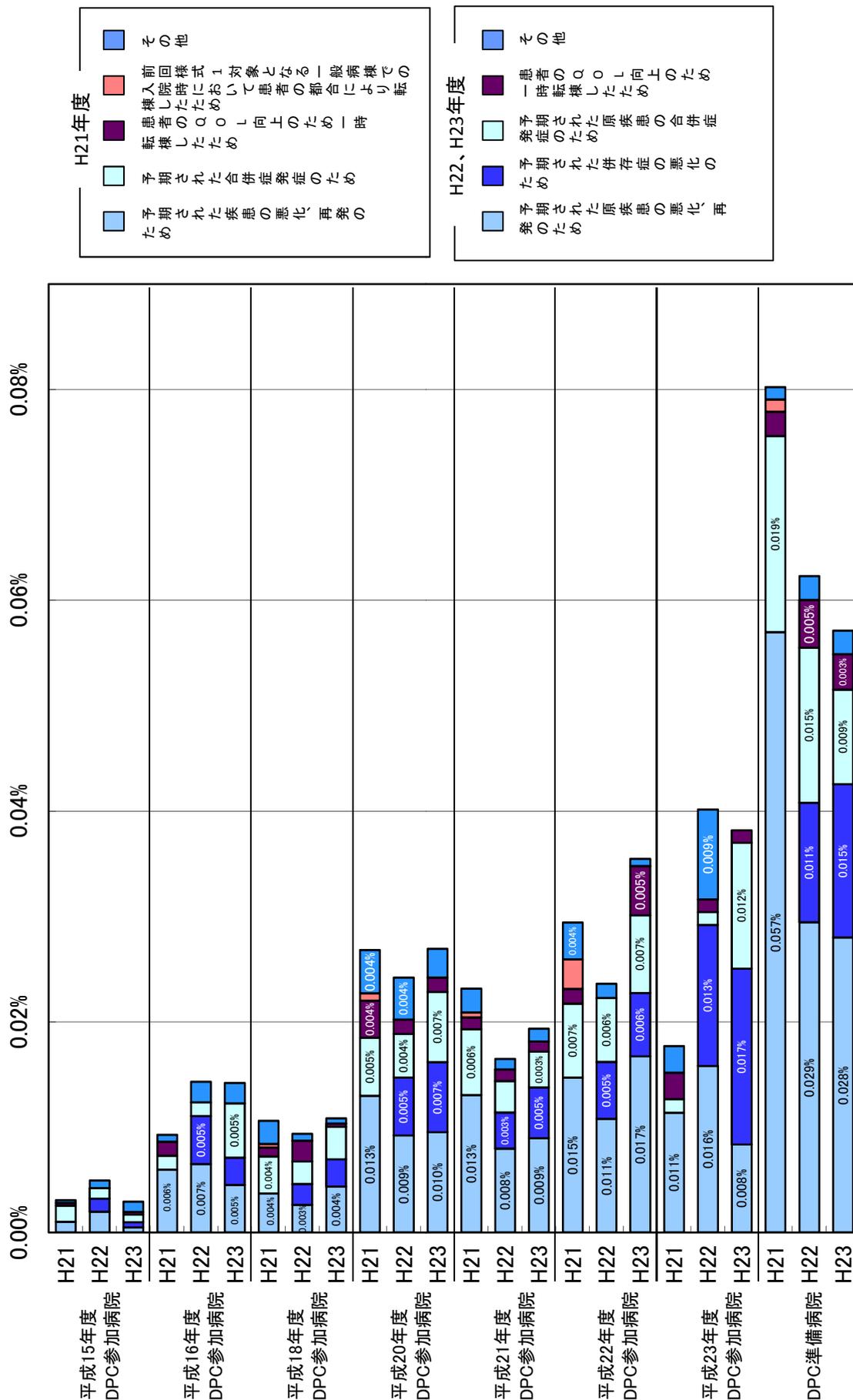


※病名の同異は前回一般病棟子様式1の「医療資源を最も投入した傷病名」と今回一般病棟子様式1の「入院の契機となった傷病名」から決定される診断群分類の上6桁の同異にて判別した

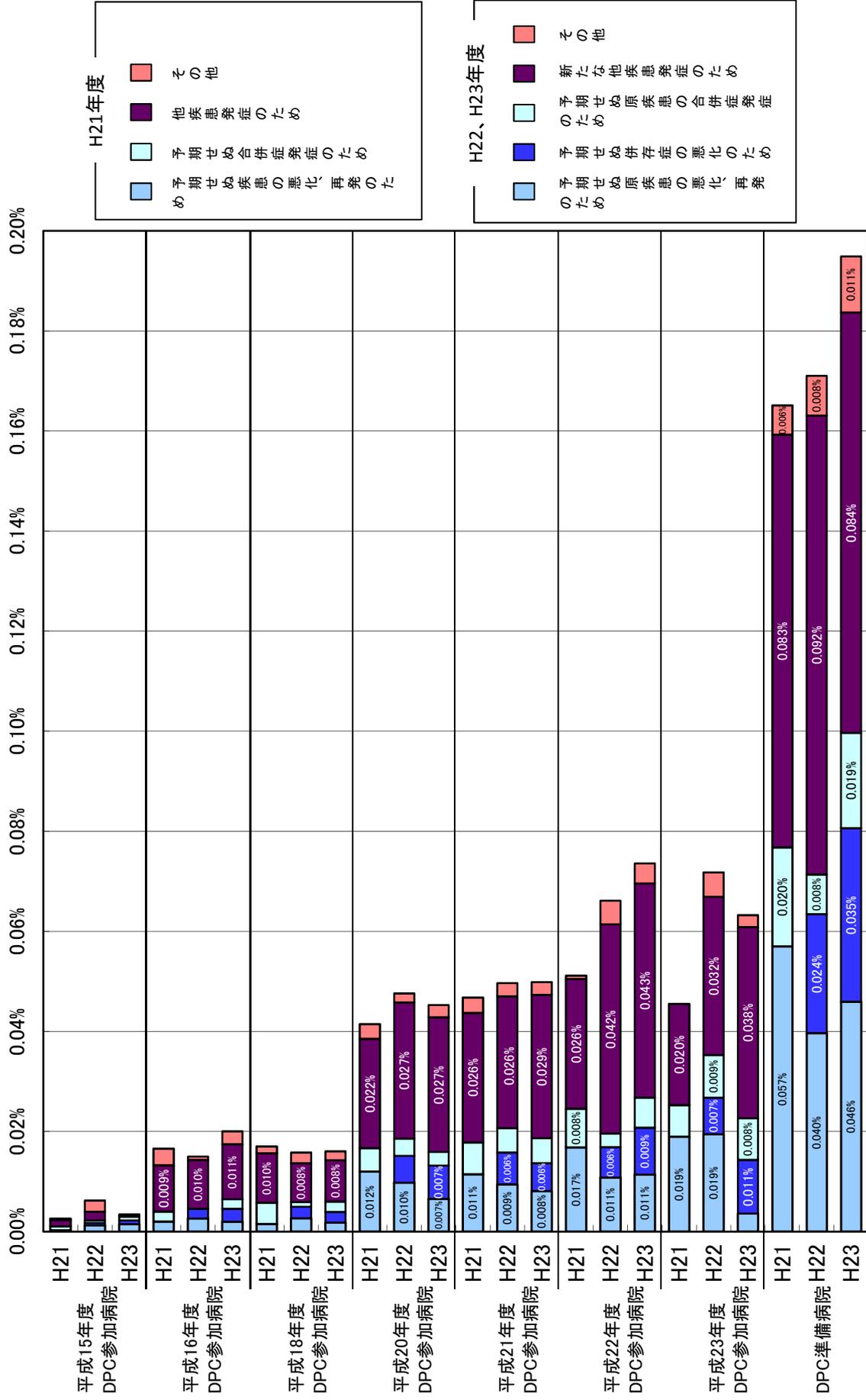
図表4-③ 計画的再転棟における理由の内訳(退院症例に対する再転棟数比率)



図表4-④ 予期された再転棟における理由の内訳(退院症例に対する再転棟数比率)

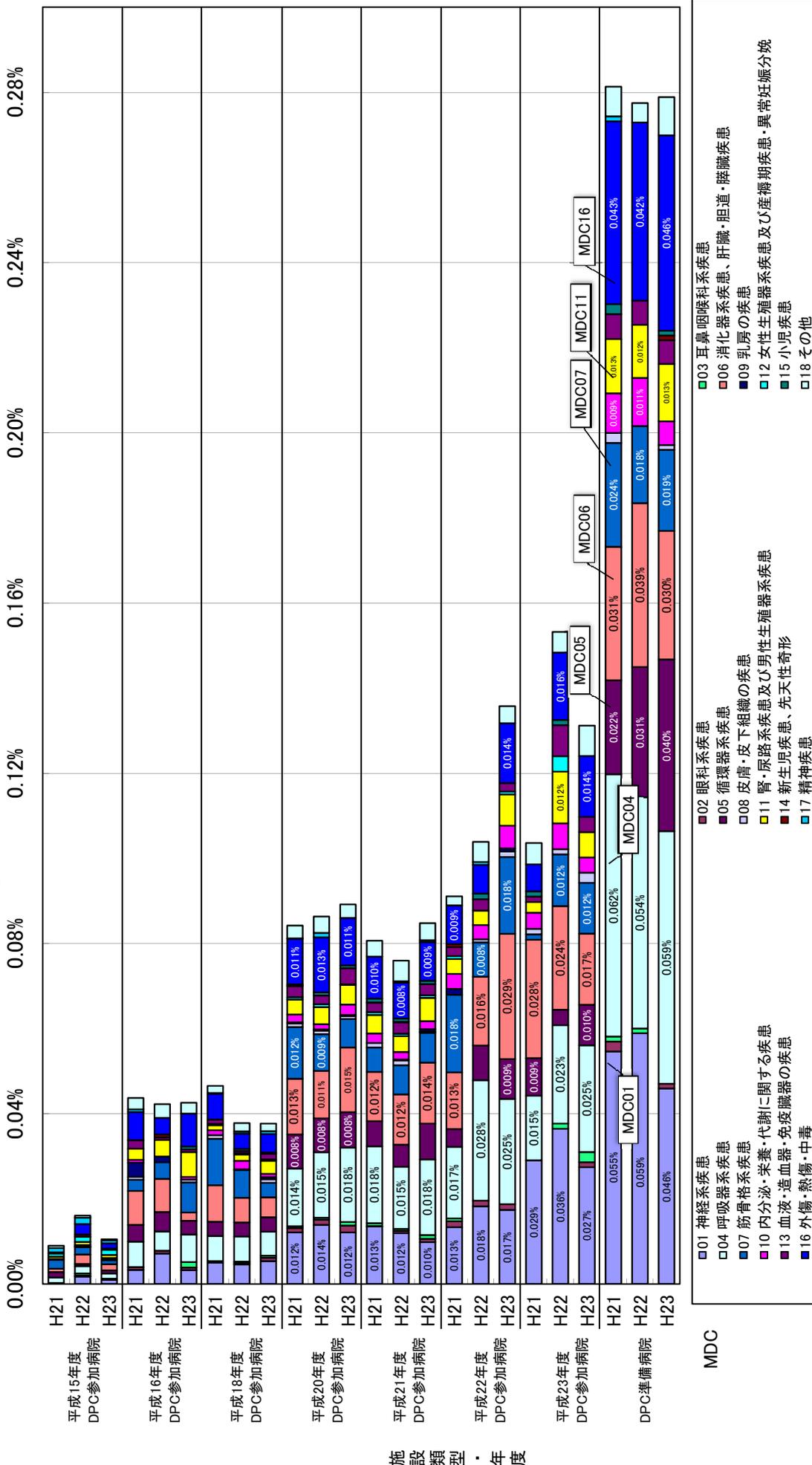


図表4-⑤ 予期せぬ再転棟における理由の内訳(退院症例に対する再転棟数比率)

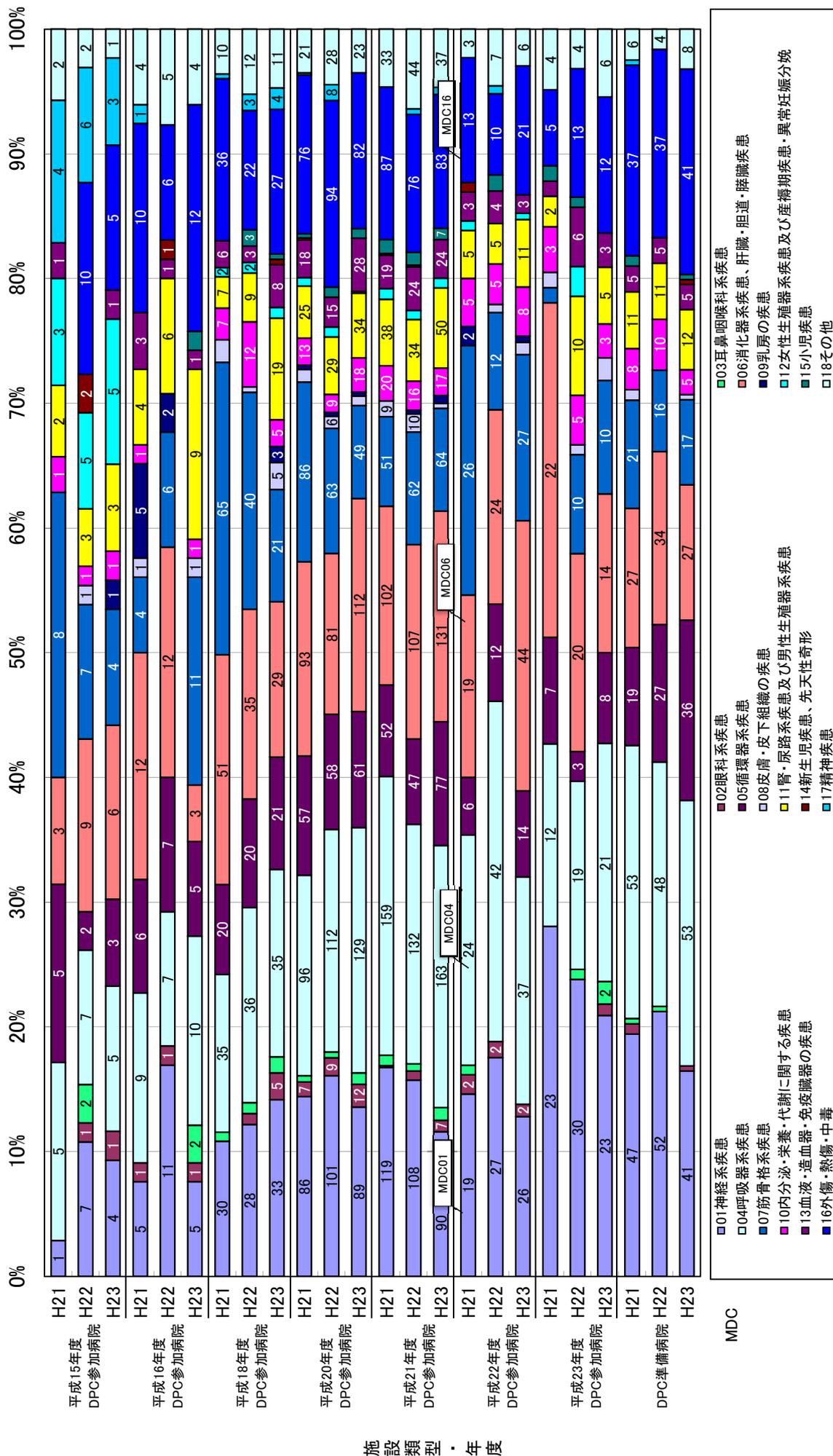


施設類型・年度

図表4-⑥-1 MDC別・退院症例に対する再転棟比率

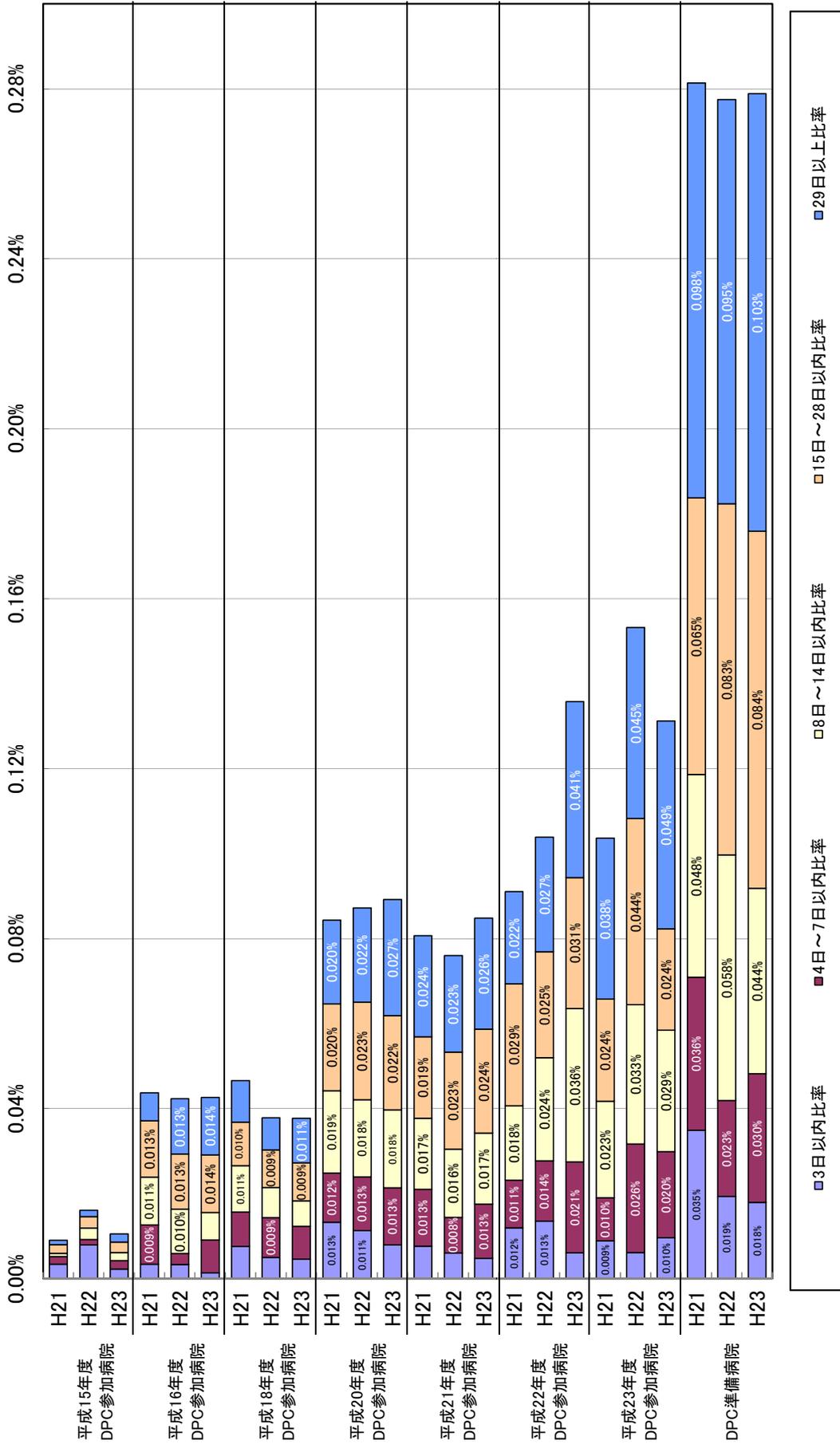


図表4-⑥-2 MDC別・再転棟割合



施設類型・年度

図表4-⑦ 前回一般病棟から今回一般病棟への転棟期間別・退院症例に対する再転棟比率



施設類型・年度

「平成 23 年度特別調査 再入院に係る調査」調査票

- ◇ 医療機関名：
 ◇ 患者データ識別番号： 生年月日（西暦）：
 ◇ 診療科コード（前回退院時）：
 診断群分類（前回退院時）：
 最医資病名（前回退院時）：
 入院日： ICD - 10：
 退院日： 退院時転帰：
 入院目的：
 ◇ 診療科コード（今回退院時）：
 診断群分類（今回退院時）：
 最医資病名（今回退院時）：
 入院日： ICD - 10：
 退院日： 退院時転帰：
 入院目的：

◇ 今回の入院直前の、患者の居所を選択してください。

1. 自宅 2. 医療機関 3. 介護施設等 4. その他（ ）

◇ 再入院の理由：

「計画的再入院」か、「予期された再入院」か、「予期せぬ再入院」かをまず判断し、その具体的理由の欄に「○」を記入してください。

「あり得る」合併症の発症や疾患の再発があって再入院した場合でも、それが患者に対して十分な説明がなされておらず、予期されていなかった場合には「予期せぬ再入院」としてください。項目を選択するに当たっては、参考資料の例を参照してください。

◎計画的再入院

- () ① 前回入院で術前検査等を行い、今回入院で手術を行うため
 () ② 前回入院以前に手術を行い、今回入院で計画的に術後の手術・処置・検査を行うため
 () ③ 計画的な化学療法のため
 () ④ 計画的な放射線療法のため
 () ⑤ 前回入院時、予定された手術・検査等が実施できなかったため
 () ⑥ その他（ ）

◎予期された再入院

- () ① 予期された原疾患（※1）の悪化、再発のため
 () ② 予期された原疾患（※1）の合併症発症のため
 () ③ 予期された併存症（※2）の悪化のため
 () ④ 患者の QOL 向上のため一時帰宅したため
 () ⑤ その他（ ）

◎予期せぬ再入院

- () ① 予期せぬ原疾患（※1）の悪化、再発のため
 () ② 予期せぬ原疾患（※1）の合併症発症のため
 () ③ 予期せぬ併存症（※2）の悪化のため
 () ④ 新たな他疾患発症のため
 () ⑤ その他（ ）

※1：前回入院時に医療資源を最も投入した傷病を指す

※2：前回入院時の入院時併存傷病及び入院後発症傷病を指す

(参考)

再入院理由の具体例

	項目	具体例
* 計画的再入院	① 前回入院で術前検査等を行い、今回入院で手術を行うため	小児の先天性心室中隔欠損症で前回カテーテル検査のため入院、今回はパッチ閉鎖手術のため入院。
	② 前回入院以前に手術を行い、今回入院で計画的に術後の手術・処置・検査を行うため	前回、骨折で入院して観血的整復術をうけた。今回、抜釘手術のため入院。 前回、急性心筋梗塞で大動脈バイパス手術を受けた。今回、術後のカテーテル検査のため入院。
	③ 計画的な化学療法のため	前回、急性骨髄性白血病に対する化学療法のため入院、今回も化学療法を受けるため入院。
	④ 計画的な放射線療法のため	前回、肺がんに対する化学療法のため入院、今回は放射線療法を受けるため入院。
	⑤ 前回入院時、予定された手術・検査等が実施できなかったため	小児で斜視手術のため入院したが、前日夕に咽頭部の発赤と発熱があったので手術を中止して退院、軽快したので2週間後に手術のため入院。
	⑥ その他	
* 予期された再入院	① 予期された原疾患の悪化、再発のため	前回、胃がん再発で入院し治療をうけて退院、自宅療養中であったが腹水貯留が著しく、嘔吐を繰り返すようになり入院。
	② 予期された原疾患の合併症発症のため	前回、食道がん治療のため入院、患者の希望で胃瘻は造設されなかったが、退院時誤嚥性肺炎がおこることもあるとの説明を受けていた。退院1週間後誤嚥性肺炎が発症したので入院。
	③ 予期された併存症の悪化のため	前回、腸閉塞のため入院、併存症として閉塞性肺疾患があり、呼吸状態の悪化の可能性について説明を受けていた。退院2週間後呼吸状態の悪化のため、入院。
	④ 患者のQOL向上のため一時帰宅したため	前回、肺小細胞癌で入院したが、ターミナルであるが小康をえていたので、患者のQOLの向上を図るため退院、今回、疼痛や呼吸困難が強くなり入院。
	⑤ その他	
* 予期せぬ再入院	① 予期せぬ原疾患の悪化、再発のため	前回、虚血性心疾患で入院、治療をうけて軽快退院、退院時風邪をひかないようにとの注意を受けていたが、心不全になるとの説明はうけていなかった。退院1ヶ月後風邪をひき、心不全になったので入院。
	② 予期せぬ原疾患の合併症発症のため	前回、食道がん治療のため入院、患者の希望で胃瘻は造設されなかったが、今後誤嚥性肺炎がおこりうるとの説明はなかった。退院1週間後誤嚥性肺炎のため入院。
	③ 予期せぬ併存症の悪化のため	前回、腸閉塞のため入院、併存症として閉塞性肺疾患があったが、呼吸状態は良好で、悪化の可能性は低いと判断されていた。しかしながら退院2週間後の外来受診で労作時の呼吸困難の訴えが強くなり、入院。
	④ 新たな他疾患発症のため	前回、白内障のため眼内レンズ挿入術をうけて退院、その5日後急性心筋梗塞を発症して入院。
	⑤ その他	

再転棟理由の具体例

	項目	具体例
* 計画的再転棟	① 術前検査等で DPC 算定病棟へ入院後手術のため	狭心症で前回カテーテル検査のため DPC 算定病棟へ入院、今回は冠動脈形成術のため DPC 算定病棟へ転棟。
	② 計画的手術・処置・検査のため	前回、骨折で DPC 算定病棟へ入院して観血的整復術をうけた。今回、抜釘手術のため DPC 算定病棟へ転棟。 前回、急性心筋梗塞で大動脈バイパス手術を受けた。今回、術後のカテーテル検査のため DPC 算定病棟へ転棟。
	③ 計画的化学療法のため	前回、急性骨髄性白血病に対する化学療法のため DPC 算定病棟へ入院、今回も化学療法を受けるため DPC 算定病棟へ転棟。
	④ 計画的放射線療法のため	前回、肺がんに対する化学療法のため DPC 算定病棟へ入院、今回は放射線療法を受けるため DPC 算定病棟へ転棟。
	⑤ 前回 DPC 算定病棟での入院時、予定された手術・検査等を中止して一時転棟したため	白内障手術のため DPC 算定病棟へ入院したが、前日夕に咽頭部の発赤と発熱があったので手術を中止して転棟、軽快したので2週間後に手術のため DPC 算定病棟へ転棟。
	⑥ その他	
* 予期された再転棟	① 予期された原疾患の悪化、再発のため	胃癌再発で DPC 算定病棟へ入院し、治療をうけて転棟、療養中であつたが腹水貯留が著しく、嘔吐を繰り返すようになり DPC 算定病棟へ転棟。
	② 予期された原疾患の合併症発症のため	食道癌治療のため DPC 算定病棟へ入院、患者の希望で胃瘻は造設されなかったが、転棟時に誤嚥性肺炎がおこることもあるとの説明を受けていた。転棟一週間後誤嚥性肺炎が発症したので DPC 算定病棟へ転棟。
	③ 予期された併存症の悪化のため	腸閉塞のため DPC 算定病棟へ入院、併存症として閉塞性肺疾患があり、呼吸状態の悪化の可能性について説明を受けていたが、治療終了のため転棟、療養中であつた。転棟後2週間で呼吸状態の悪化のため、DPC 算定病棟へ転棟。
	④ 患者の QOL 向上のため一時転棟したため	肺小細胞癌で DPC 算定病棟へ入院したが、ターミナルであるが小康をえていたので、患者の QOL の向上を図るため転棟、今回、疼痛や呼吸困難が強くなり DPC 算定病棟へ転棟。
	⑤ その他	
* 予期せぬ再転棟	① 予期せぬ原疾患の悪化、再発のため	虚血性心疾患で DPC 算定病棟へ入院、治療をうけて軽快転棟、転棟時風邪をひかないようにとの注意を受けていたが、心不全になるとの説明はうけていなかった。転棟1ヶ月後風邪をひき、心不全になったので DPC 算定病棟へ転棟。
	② 予期せぬ原疾患の合併症発症のため	食道癌治療のため DPC 算定病棟へ入院、患者の希望で胃瘻は造設されなかったが、今後誤嚥性肺炎がおこりうるとの説明はなかった。転棟1週間後誤嚥性肺炎のため DPC 算定病棟へ転棟。
	③ 予期せぬ併存症の悪化のため	腸閉塞のため DPC 算定病棟へ入院、併存症として閉塞性肺疾患があつたが、呼吸状態は良好で、悪化の可能性は低いと判断されていたこともあり、治療終了後転棟し、療養中であつた。 しかしながら転棟1か月後、労作時の呼吸困難の訴えが強くなり、加療のため DPC 算定病棟へ転棟。
	④ 新たな他疾患発症のため	前回、白内障のため眼内レンズ挿入術をうけて転棟、その5日後急性心筋梗塞を発症して DPC 算定病棟へ転棟。
	⑤ その他	

※DPC 算定病棟とは、以下の入院基本料等を届出ている病棟をいう。

- ・ 一般病棟入院基本料
- ・ 特定機能病院入院基本料（一般）
- ・ 専門病院入院基本料
- ・ 救命救急入院料
- ・ 特定集中治療室管理料
- ・ ハイケアユニット入院医療管理料
- ・ 脳卒中ケアユニット入院医療管理料
- ・ 新生児特定集中治療室管理料
- ・ 総合周産期特定集中治療室管理料
- ・ 新生児治療回復室入院医療管理料
- ・ 一類感染症患者入院医療管理料
- ・ 小児入院医療管理料

